

# 横須賀市教育環境整備計画

令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

横須賀市教育委員会

## 【 目 次 】

### 第1章 教育環境整備計画の概要

1	計画の趣旨	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	2
4	計画の見直し	2

### 第2章 現状と課題

1	横須賀市の人口推移	3
2	小中学校の現状と課題	4
3	地域ごとの課題	14

### 第3章 教育環境整備の取り組み

1	手順	18
2	検討のための基準	19
3	検討地域・対象校	20

### 《 参考資料 》

1	各行政センター区域の通学区域図及び児童生徒数推移	30
2	児童生徒・学級数推計一覧	48

# 第1章 教育環境整備計画の概要

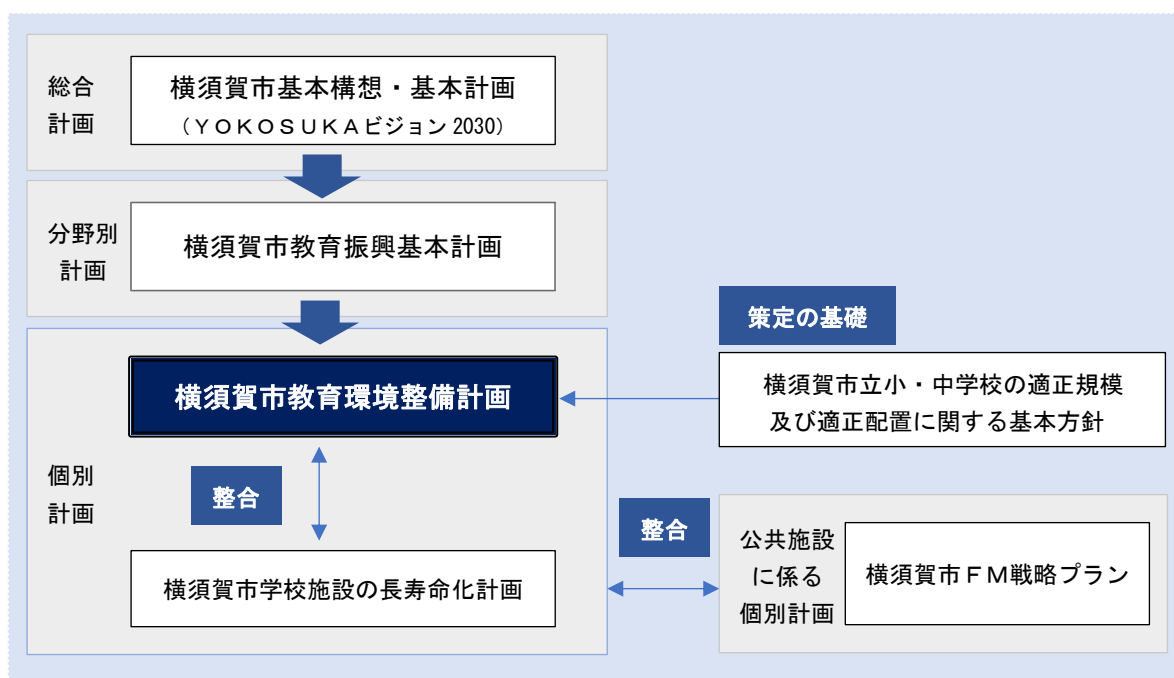
## 1 計画の趣旨

本計画は、急激な人口減少が見込まれる本市において、「横須賀の目指す教育の姿～あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり～」の実現に向けた市立小中学校の教育環境を整備するために策定しています。

## 2 計画の位置付け

本計画は、平成29年(2017年)1月に改定した「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づく実施計画であり、検討地域・対象校及び検討時期等について定めています。

また、「横須賀市基本構想・基本計画(YOKOSUKAビジョン2030)」に基づく分野別計画として策定した「横須賀市教育振興基本計画」の個別計画として位置付けます。同様の個別計画である「横須賀市学校施設の長寿命化計画」や横須賀市の公共施設のうち建物に関する将来の在り方等について定める「横須賀市FM戦略プラン」とは、整合を図りながら取り組みを進めていきます。



### 3 計画期間

教育環境整備計画の計画期間は、「横須賀市教育振興基本計画」に合わせて、令和4年度(2022年度)から令和11年度(2029年度)までの8年間としています。

なお、計画期間を前期(4年間)、後期(4年間)に分けて教育環境の整備を進めていきます。

<b>教育環境整備計画</b> 令和4年度(2022年度)～令和11年度(2029年度)	
前期 (令和4年度～令和7年度) (2022年度～2025年度)	後期 令和8年度～令和11年度 (2026年度～2029年度)

### 4 計画の見直し

令和7年度(2025年度)に後期計画を見直し、令和11年度(2029年度)には次期計画の策定を行います。

また、国の施策の大幅な変更や社会情勢の変化などにより、見直しの必要が生じたときには、その都度検討を行い、見直しを図ります。

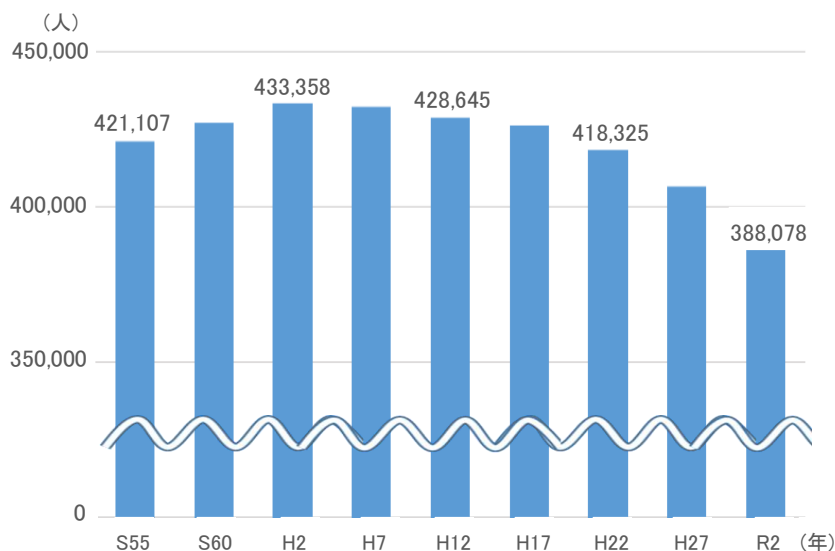
## 第2章 現状と課題

### 1 横須賀市の人口推移

本市の人口は、令和2年(2020年)の国勢調査結果では388,078人であり、平成2年(1990年)の433,358人をピークに減少傾向にあります。10年ごとの減少スピードを見ていくと、平成2年(1990年)から平成12年(2000年)では約5千人の減、平成12年(2000年)から平成22年(2010年)では約1万人の減、平成22年(2010年)から令和2年(2020年)では約3万人の減と、加速している状況が見て取れます。

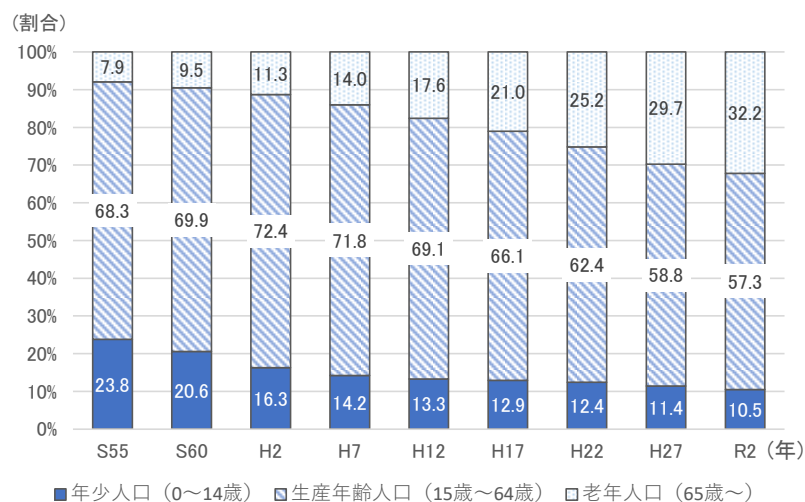
また、年齢3区分別人口割合の推移を見てみると、年少人口(0~14歳)は昭和60年(1985年)までは20%台を維持していましたが、少子化の進展に伴い令和2年(2020年)では10.5%となり、今後も減少が見込まれます。

#### ■人口総数の推移



出典：総務省「国勢調査」

#### ■年齢3区分別人口割合の推移



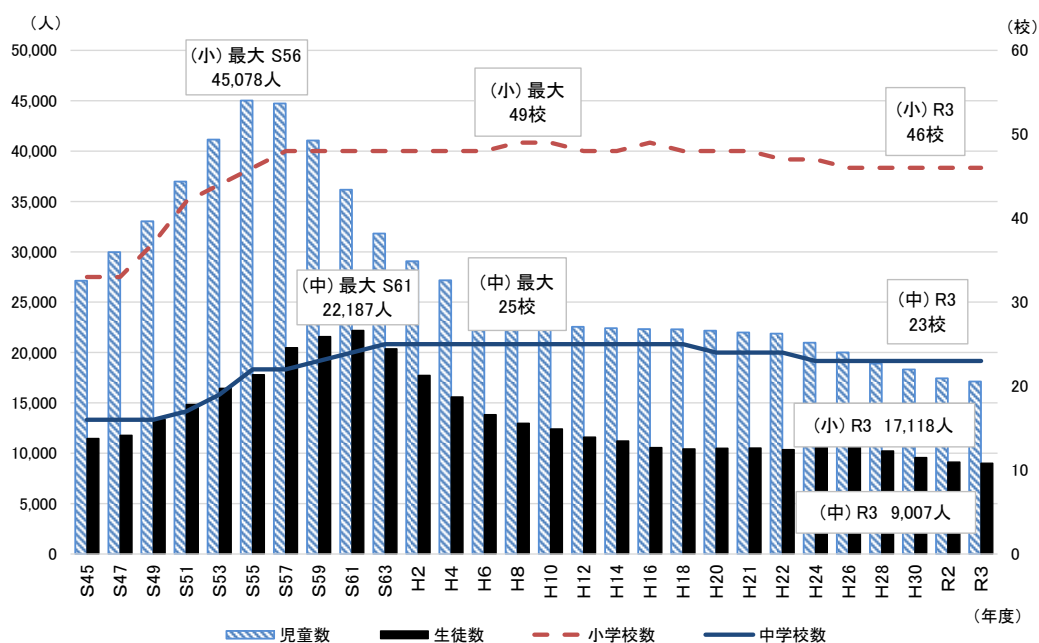
出典：総務省「国勢調査」

## 2 小中学校の現状と課題

### (1) 小中学校の児童生徒数推移

小中学校の児童生徒数は、令和3年(2021年)5月1日現在で児童数が17,118人、生徒数が9,007人となっています。昭和56年(1981年)の児童数のピーク45,078人、昭和61年(1986年)の生徒数のピーク22,187人と比較して、児童生徒ともに約6割減少しています。児童生徒数が減少している中で、児童生徒の急増期に設置した学校数にはほとんど変化がないため、多くの学校で小規模化が進んでいます。

■ 小中学校児童生徒数推移



## (2) 小中学校の学校規模

昭和 56 年（1981 年）の児童数のピーク時と昭和 61 年（1986 年）の生徒数のピーク時においては、大規模校（25～30 学級）と過大規模校（31 学級以上）の割合が小学校で約 54%（25 校）、中学校で約 25%（6 校）でした。児童生徒数の減少に伴い、現在、大規模校と過大規模校はなく、小規模校（6～11 学級）が増加しており、小学校で約 30%（14 校）、中学校で約 48%（11 校）が小規模校となっています。中には 1 学級の人数が著しく少ない学校や男女比が偏っている学校もあります。

このような状況の中で、人間関係面においては関係が固定化しやすいことなど、指導面においては多様な意見等に触れることが難しいことや集団学習に制約が生じることなど、学校運営面においてはバランスの取れた教職員配置が難しいことや教職員 1 人当たりの校務が幅広く負担になることなど、さまざまな課題が生じています。

子ども同士が豊かな人間関係を築き、社会性を身に付け、さまざまな形態による効果的な学習を行ったり、集団の相互作用による思考力の育成を図ったりするために、活動に応じて少人数のグループから大きな集団まで、適切な規模の集団を組み、多様な教育活動を展開する必要があります。

学校教育においてはある程度の規模が必要であり、「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」においては、適正規模の範囲を小中学校ともに 12 学級から 24 学級としています。

このような学校規模に係るさまざまな課題を解消するために教育環境の整備を進めていきます。

### ■学校規模の定義

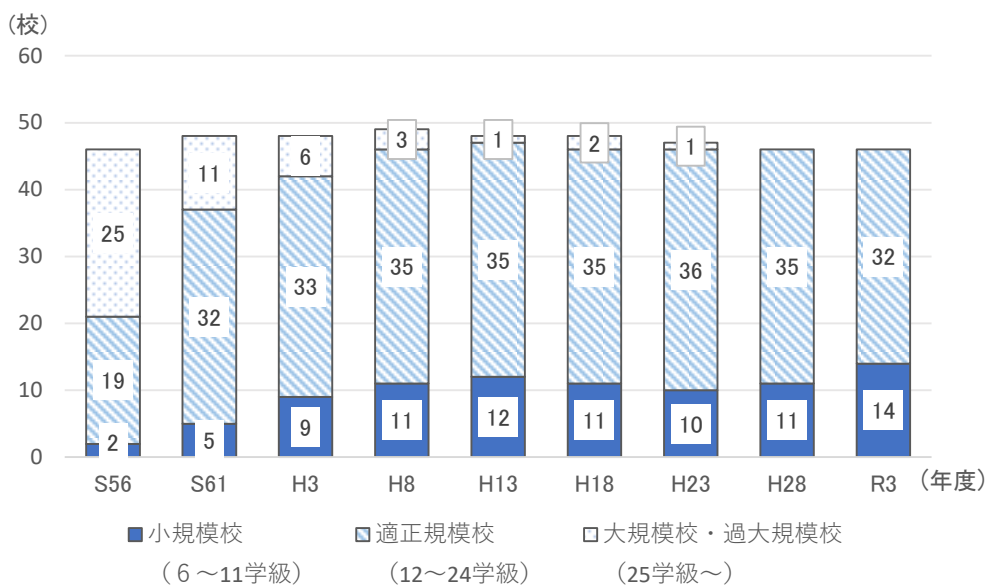
	小学校	中学校
過小規模校	1～5学級(複式学級*あり)	1～2学級(複式学級*あり)
小規模校	6～11 学級(各学年1～2学級)	3～11 学級(各学年1～4学級)
適正規模校	12～24 学級(各学年2～4学級) ・各学年でクラス替えが可能 ・学年運営が効果的に行える ・教員と児童が十分に関わりを持つことができる	12～24 学級(各学年4～8学級) ・各学年でクラス替えが可能 ・学年運営が効果的に行える ・教員と生徒が十分に関わりを持つことができる ・5教科の教員が複数配置でき、選択教科、部活動などの指導体制が充実する
大規模校	25～30 学級(各学年4～5学級)	25～30 学級(各学年8～10 学級)
過大規模校	31 学級～(6学級以上の学年あり)	31 学級～(11 学級以上の学年あり)

\* 複式学級… 2 つ以上の異なる学年を 1 つにして編制した学級

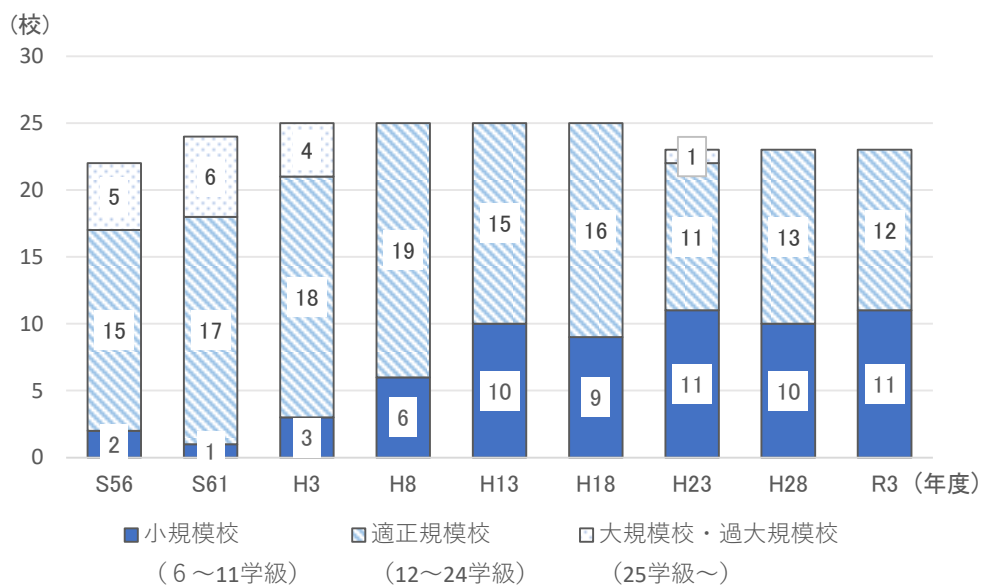
\* 学級数は学校規模の比較のため、通常学級を記載

出典：横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針

### ■ 小学校の学校規模別学校数の推移



### ■ 中学校の学校規模別学校数の推移





■学校規模の一覧表（小学校）（令和3年5月1日現在）

	学校名	通常学級数	児童数	学校規模
1	走水	6	52 (6)	小規模校 (11学級以下) 14校
2	逸見	6	84 (11)	
3	汐入	6	98 (11)	
4	沢山	6	99 (6)	
5	追浜	6	105 (3)	
6	田浦	6	143 (12)	
7	長浦	6	146 (4)	
8	荻野	6	159 (8)	
9	北下浦	10	241 (6)	
10	富士見	10	247 (11)	
11	桜	10	259 (7)	
12	豊島	11	263 (15)	
13	馬堀	11	268 (12)	
14	鷹取	11	289 (12)	
15	長井	12	291 (13)	適正規模校 (12~24学級) 32校
16	望洋	12	299 (13)	
17	粟田	12	302 (10)	
18	岩戸	12	333 (13)	
19	諏訪	12	349 (22)	
20	鴨居	12	350 (12)	
21	大矢部	12	353 (20)	
22	高坂	12	360 (16)	
23	野比東	12	361 (16)	
24	津久井	12	363 (8)	
25	大津	12	369 (13)	
26	小原台	12	390 (16)	
27	衣笠	12	428 (29)	
28	船越	13	411 (16)	
29	武山	13	429 (12)	
30	山崎	14	401 (20)	
31	浦賀	14	413 (17)	
32	夏島	14	453 (20)	
33	大塚台	15	474 (24)	
34	神明	15	486 (25)	
35	野比	16	473 (17)	
36	大楠	17	477 (17)	
37	城北	17	491 (9)	
38	田戸	17	513 (24)	
39	鶴久保	17	535 (24)	
40	根岸	18	542 (18)	
41	池上	18	589 (30)	
42	明浜	19	634 (25)	
43	公郷	20	682 (25)	
44	久里浜	20	682 (37)	
45	森崎	21	658 (29)	
46	浦郷	24	774 (28)	
合計		589	17,118 (742)	

※通常学級の学級数及び児童数総数の少ない順番で記載

※（ ）内は、特別支援学級の再掲

■学校規模の一覧表（中学校）（令和3年5月1日現在）

	学校名	通常学級数	生徒数	学校規模
1	岩戸	5	148 (7)	小規模校 (11学級以下) 11校
2	長井	6	161 (3)	
3	鷹取	6	178 (5)	
4	北下浦	6	196 (8)	
5	大楠	7	251 (16)	
6	馬堀	8	235 (7)	
7	公郷	9	299 (17)	
8	坂本	9	328 (21)	
9	野比	9	337 (9)	
10	池上	10	349 (14)	
11	不入斗	10	384 (8)	
12	長沢	12	413 (10)	適正規模校 (12～24学級) 12校
13	鴨居	12	415 (14)	
14	衣笠	12	416 (16)	
15	常葉	12	426 (16)	
16	神明	12	426 (12)	
17	田浦	12	435 (16)	
18	大矢部	12	444 (12)	
19	武山	13	488 (21)	
20	追浜	13	492 (11)	
21	浦賀	18	674 (14)	
22	大津	20	730 (17)	
23	久里浜	20	782 (17)	
合計		253	9,007 (291)	

※通常学級の学級数及び生徒数総数の少ない順番で記載

※（ ）内は、特別支援学級の再掲

### (3) 通学区域の課題

#### ア 通学距離

「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」においては、適正な通学距離を小学校で2キロメートル程度、徒歩30分程度、中学校で3キロメートル程度、徒歩45分程度としています。

しかしながら、学校の立地によって自然環境、その他住宅の偏在など地理的条件により、この基準を超える地域がありますが、市内の公共交通機関の整備状況等、生活圏の実情や地域の特性を勘案し判断します。

#### ■適正な通学距離の範囲

小学校	中学校
●2キロメートル程度 徒歩30分程度	●3キロメートル程度 徒歩45分程度

出典：横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針

#### ■通学距離の基準を超える学校

小学校（2キロ程度以上）4校	中学校（3キロ程度以上）3校
明浜小、野比東小、武山小、大楠小	田浦中、武山中、大楠中

※実際に通学する児童生徒の有無にかかわらず、通学区域内で最も遠い距離を計測したもの

## イ 小中一貫教育ブロックの不一致

本市では、平成 28 年度(2016 年度)から小中一貫教育を「義務教育 9 年間を一体と捉え、発達の段階に応じて子どもの学びをつなぐ教育」とし、23 の中学校ブロックごとに取り組んでいます。通学区域を共にする小中学校が、子どもや地域の実態をもとに共通の教育方針を設定して、9 年間を通じた教育課程を工夫し、「学びの系統性・連続性」を重視した教育を行っています。

しかし、1 つの小学校区が複数の中学校区に分かれて小中一貫教育ブロックが一致していない地域があるため、今後、通学区域と小中一貫教育ブロックの整理に努めます。

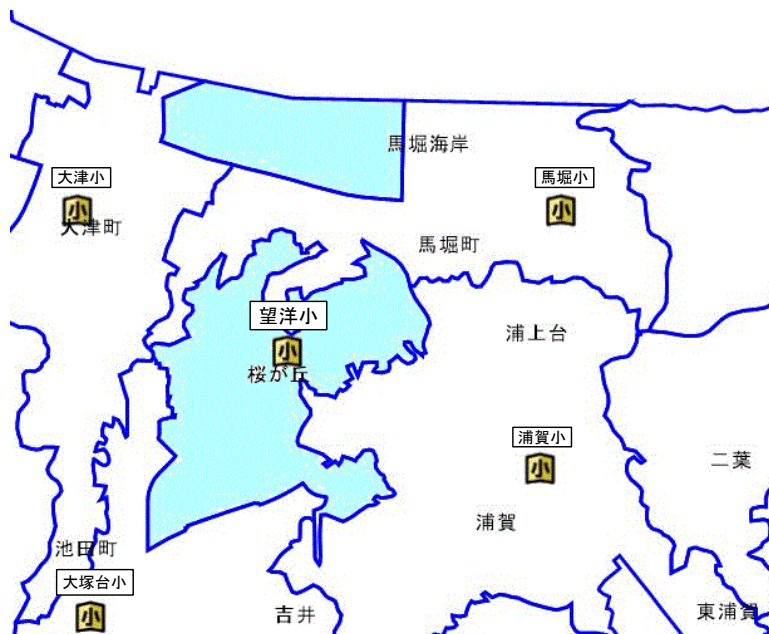
### ■小中一貫教育ブロックが一致していない地域

小学校名 (小中一貫教育ブロック)	指定の中学校区	小中一貫教育 ブロックとの整合
衣笠小 (衣笠中学校ブロック)	衣笠中学校区	一致
	大矢部中学校区	不一致
大矢部小 (大矢部中学校ブロック)	大矢部中学校区	一致
	久里浜中学校区	不一致
森崎小 (大矢部中学校ブロック)	大矢部中学校区	一致
	公郷中学校区	不一致
望洋小 (馬堀中学校ブロック)	馬堀中学校区	一致
	浦賀中学校区	不一致
大塚台小 (浦賀中学校ブロック)	浦賀中学校区	一致
	大津中学校区	不一致
	久里浜中学校区	不一致
久里浜小 (久里浜中学校ブロック)	久里浜中学校区	一致
	神明中学校区	不一致
明浜小 (久里浜中学校ブロック)	久里浜中学校区	一致
	神明中学校区	不一致
神明小 (神明中学校ブロック)	神明中学校区	一致
	久里浜中学校区	不一致
栗田小 (野比中学校ブロック)	野比中学校区	一致
	岩戸中学校区	不一致
北下浦小 (北下浦中学校ブロック)	北下浦中学校区	一致
	長沢中学校区	不一致
津久井小 (北下浦中学校ブロック)	北下浦中学校区	一致
	長沢中学校区	不一致
野比小 (長沢中学校ブロック)	長沢中学校区	一致
	野比中学校区	不一致
荻野小 (大楠中学校ブロック)	大楠中学校区	一致
	武山中学校区	不一致

## ウ 飛び地

望洋小学校と野比中学校には、通学区域に飛び地が存在し、児童生徒の通学や地域との関わりに影響がある地域がありますので、今後、学校配置の見直しを行う場合は、改善に努めます。

### ■望洋小学校区の飛び地



出典：国土地理院基盤地図

### ■野比中学校区の飛び地



出典：国土地理院基盤地図

#### (4) 学校施設の課題

本市の学校施設は、児童生徒の増加を背景に昭和 50 年代に集中して建設され、令和 2 年度（2020 年度）時点で、全体の約 2 割の施設が建築後 50 年以上経過しており、経年劣化が進んでいます。なお、建築後 30 年以上経過している施設は、全体の約 8 割を超えています。

また、本市は起伏の多い丘陵地に位置しており、一部の学校では、学校施設の位置する場所が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）\*に指定されています。レッドゾーンに位置している学校は、建て替えコストが高くなることや安全性への配慮から建て替えが困難な施設もあります。

今後、学校施設を維持していくためには、大規模改修工事や建て替えに多額の費用が必要になるだけでなく、その時期も一時期に集中することが想定され、効率的に施設を運営していくことが求められています。

令和 3 年（2021 年）3 月に策定した「横須賀市学校施設の長寿命化計画」において、本市の学校施設は一定の周期に老朽化対策を目的とした改修を実施していることから、目標耐用年数を上限値である 80 年としています。

しかし、建て替えには、期間を要することから、築 60 年以上の学校施設については、対策の検討を始める必要があります。

建て替えの検討に当たっては、児童生徒数の将来推計を踏まえた上で、法令上の制限や学校の敷地面積、レッドゾーン等に留意しつつ、学校教育に支障がないように考慮します。

##### \* 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）により指定された区域。区域に指定された場合、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造の規制等が行われます。

### ■学校施設の築年数一覧

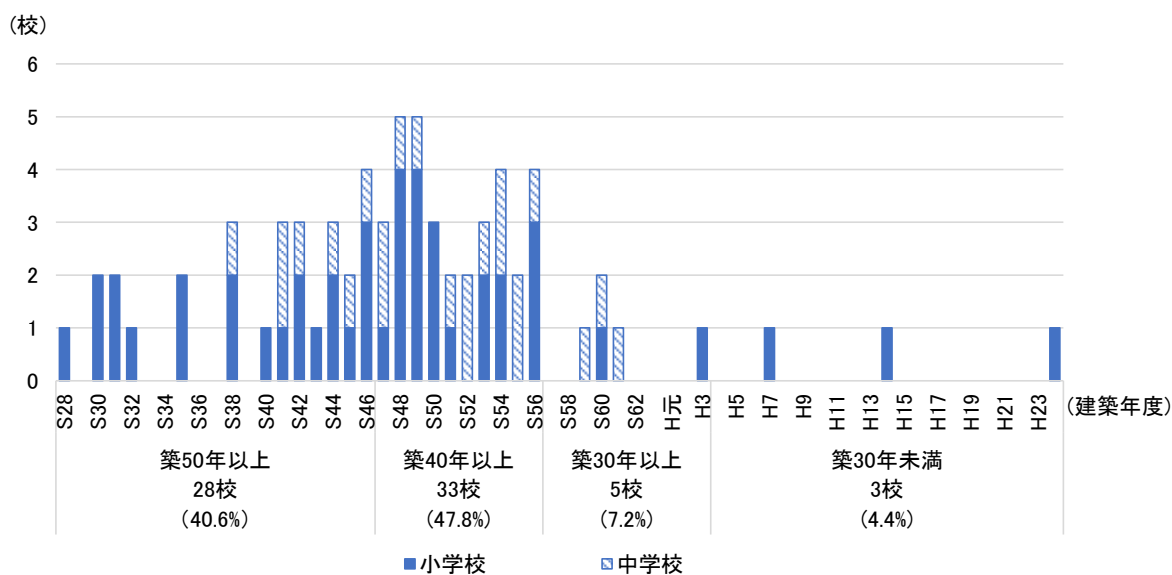
(令和3年4月現在)

	学校名	建築年度	経過年数		学校名	建築年度	経過年数
1	田浦小	S28	68	15	馬堀中	S41	55
2	夏島小	S30	66	16	山崎小	S42	54
3	豊島小	S30	66	17	大津小	S42	54
4	逸見小	S31	65	18	北下浦中	S42	54
5	田戸小	S31	65	19	森崎小	S43	53
6	衣笠小	S32	64	20	久里浜小	S44	52
7	浦賀小	S35	61	21	公郷中	S44	52
8	沢山小	S35	61	22	鶴久保小	S44	52
9	浦郷小	S38	58	23	浦賀中	S45	51
10	坂本中	S38	58	24	明浜小	S45	51
11	汐入小	S38	58	25	鴨居中	S46	50
12	船越小	S40	56	26	馬堀小	S46	50
13	鴨居小	S41	55	27	武山小	S46	50
14	田浦中	S41	55	28	北下浦小	S46	50

※経過年数が50年以上の小中学校を経過年数の長い順番で記載

※経過年数が異なる学校施設が混在する場合は、最も古い学校施設の経過年数を記載

### ■市立小中学校の築年数ごとの学校数



### 3 地域ごとの課題

小中学校が抱える課題を学校ごとに捉えるだけでなく、行政センター区域、中学校区域の課題として捉え、全市的な教育環境の整備に向けた検討が必要となります。

#### ■地域別課題一覧

(令和3年5月1日現在)

行政区	学校規模	通学区域		学校施設	
	小規模	遠距離 (飛び地)	小中一貫 ブロック 不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン*2
追浜	追浜小 鷹取小			夏島小	追浜小 夏島小 浦郷小 鷹取小 鷹取中
田浦	田浦小 長浦小*1	田浦中		田浦小	船越小 田浦小 長浦小 田浦中
逸見 本庁	逸見小 沢山小 桜小 汐入小 豊島小			逸見小 沢山小 田戸小 豊島小	逸見小 沢山小 汐入小 豊島小 坂本中
衣笠			公郷中 大矢部中	衣笠小	公郷中 大矢部中
大津	走水小 馬堀小	(望洋小)	大津中		山崎小*1 根岸小 走水小 望洋小 馬堀中
浦賀			浦賀中	浦賀小	大塚台小*1 浦賀小 小原台小 鴨居小 高坂小 浦賀中 鴨居中
久里浜	岩戸中	明浜小	岩戸中 久里浜中 神明中		岩戸小 神明中 岩戸中
北下浦	北下浦小	野比東小 (野比中)	野比中 長沢中		粟田小*1 野比東小 野比中 北下浦中 長沢中
西	富士見小 荻野小	武山小 大楠小 武山中 大楠中	武山中		大楠小 長井中 大楠中

\*1 行政区の分類を学校の所在地ではなく、小中一貫教育ブロックを基本として記載

\*2 レッドゾーンについては、敷地の一部でも該当している学校を記載



■課題の概要

(令和3年5月1日現在)

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
追浜	追浜中	追浜小 夏島小 浦郷小	<ul style="list-style-type: none"> <li>追浜小は6学級で小規模校に該当している</li> <li>夏島小は築66年で建て替え時期が迫っている</li> <li>追浜小、夏島小は敷地の一部、浦郷小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
	鷹取中	鷹取小	<ul style="list-style-type: none"> <li>鷹取小は11学級で小規模校に該当している</li> <li>鷹取小は建物の一部、鷹取中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
田浦	田浦中	船越小 田浦小 長浦小*	<ul style="list-style-type: none"> <li>田浦小、長浦小はそれぞれ6学級で小規模校に該当している</li> <li>田浦中は約3.6kmの遠距離通学の地域がある</li> <li>田浦小は築68年で建て替え時期が迫っている</li> <li>船越小、田浦小は建物の一部、長浦小、田浦中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
逸見本庁	坂本中	逸見小 沢山小 桜小 汐入小	<ul style="list-style-type: none"> <li>逸見小、沢山小、汐入小はそれぞれ6学級、桜小が10学級と同一中学校区の4小学校が全て小規模校に該当している</li> <li>逸見小は複式学級に相当する学年がある</li> <li>逸見小は築65年、沢山小は築61年、汐入小は築58年、坂本中は築58年で建て替え時期が迫っている</li> <li>逸見小は敷地の一部、沢山小、汐入小、坂本中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>坂本中は建て替え時に、現在使用している旧桜台中の有効活用を含めた敷地の整理が必要</li> </ul>
	常葉中	諏訪小 田戸小	<ul style="list-style-type: none"> <li>田戸小は築65年で建て替え時期が迫っている</li> </ul>
	不入斗中	豊島小 鶴久保小	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊島小は11学級で小規模校に該当している</li> <li>豊島小は築66年で建て替え時期が迫っている</li> <li>豊島小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
衣笠	公郷中	公郷小	<ul style="list-style-type: none"> <li>公郷中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>公郷中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(森崎小)</li> </ul>
	池上中	池上小	<ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>
	衣笠中	城北小 衣笠小	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣笠小は築64年で建て替え時期が迫っている</li> </ul>
	大矢部中	大矢部小 森崎小	<ul style="list-style-type: none"> <li>大矢部中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>大矢部中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(衣笠小)</li> </ul>

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
大津	大津中	山崎小* 大津小 根岸小	<ul style="list-style-type: none"> <li>山崎小は敷地の一部、根岸小は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>大津中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(大塚台小)</li> </ul>
	馬堀中	走水小 馬堀小 望洋小	<ul style="list-style-type: none"> <li>走水小は6学級、馬堀小は11学級で小規模校に該当している</li> <li>走水小は複式学級に相当する学年がある</li> <li>望洋小は令和5年度に11学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>望洋小は通学区域に飛び地がある</li> <li>走水小、馬堀中は建物の一部、望洋小は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
浦賀	浦賀中	大塚台小* 浦賀小 高坂小	<ul style="list-style-type: none"> <li>高坂小は令和7年度に11学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>浦賀小は築61年で、建て替え時期が迫っている</li> <li>大塚台小、浦賀小は敷地の一部、高坂小、浦賀中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>浦賀中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(望洋小)</li> </ul>
	鴨居中	小原台小 鴨居小	<ul style="list-style-type: none"> <li>小原台小は令和7年度に11学級、鴨居小は令和8年度に11学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>小原台小は建物の一部、鴨居小、鴨居中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
久里浜	岩戸中	岩戸小	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩戸小は令和7年度に11学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>岩戸中は5学級で小規模校に該当している</li> <li>岩戸小は敷地の一部、岩戸中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>岩戸中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(栗田小)</li> </ul>
	久里浜中	久里浜小 明浜小	<ul style="list-style-type: none"> <li>明浜小は約3.1kmの遠距離通学の地域がある</li> <li>久里浜中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(大矢部小、大塚台小、神明小)</li> </ul>
	神明中	神明小	<ul style="list-style-type: none"> <li>神明中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>神明中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(久里浜小、明浜小)</li> </ul>

行政区	中学校区	小学校区	課題の概要
北下浦	野比中	栗田小* 野比東小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗田小は令和8年度に11学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>・野比東小は約2.5kmの遠距離通学の地域がある</li> <li>・野比中は通学区域に飛び地がある</li> <li>・栗田小、野比東小は敷地の一部、野比中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>・野比中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(野比小)</li> </ul>
	長沢中	野比小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長沢中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> <li>・長沢中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(北下浦小、津久井小)</li> </ul>
	北下浦中	北下浦小 津久井小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北下浦小は10学級で小規模校に該当している</li> <li>・北下浦中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
西	長井中	長井小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長井小は令和6年度に11学級、長井中は令和7年度に5学級となり小規模校に該当する見込み</li> <li>・長井中は敷地の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>
	武山中	富士見小 武山小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見小は10学級で小規模校に該当している</li> <li>・武山小は約2.9km、武山中は約3.5kmの遠距離通学の地域がある</li> <li>・武山中学校区内に他の小中一貫教育ブロックの小学校がある(荻野小)</li> </ul>
	大楠中	荻野小 大楠小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荻野小は6学級で小規模校に該当している</li> <li>・大楠小は約4.3km、大楠中は約4.8kmの遠距離通学の地域がある</li> <li>・大楠小は敷地の一部、大楠中は建物の一部がレッドゾーンに該当し、建て替えの際、考慮が必要</li> </ul>

\*行政区の分類を学校の所在地ではなく、小中一貫教育ブロックを基本として記載

### 第3章 教育環境整備の取り組み

#### 1 手順

##### (1) 視点

具体的な取り組みに当たっては、地域ごとの将来像を見据えながら、学校関係者や保護者、地域の方々と協働して、それぞれの立場から、「現在と未来の子どもたちのより良い教育環境のために」という共通の視点で協議をし、合意形成を図った上で進めていきます。

また、検討の際には、小中一貫教育推進の観点、小中学校の建て替え時期や、現在の場所に建て替える場合の課題等も踏まえて、将来的にどのような学校配置が望ましいのか、ということも併せて考えていきます。

学校規模や通学区域の是正が必要な場合は、まず、通学区域の見直しを検討しますが、それでも課題が解消できないときには、隣接校との統合を検討します。その際は通学の安全性、利便性が図られるよう考慮していきます。

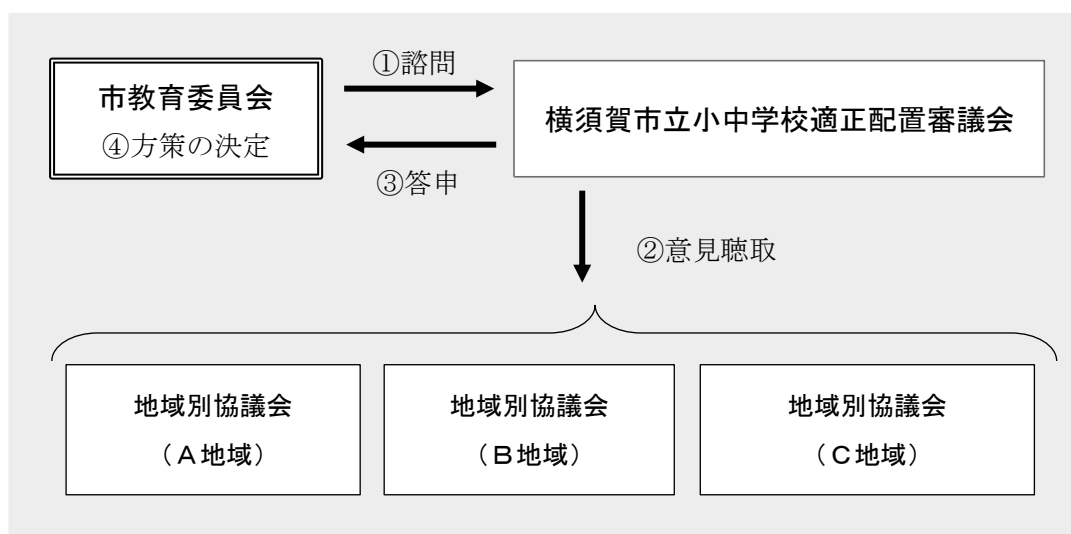
なお、統合によりいずれかの学校が廃校となる場合、学校の跡地の利活用については、地域の方々の意見を伺いながら、全市的なまちづくりの視点で検討を行います。

##### (2) 検討組織

教育環境のより適正な整備を図るため、教育委員会は附属機関である横須賀市立小中学校適正配置審議会(以下、「審議会」という。)に「①諮問」します。

審議会は、地域ごとに学校関係者、保護者、地域の方々と構成する地域別小中学校教育環境整備検討協議会(以下、「地域別協議会」という。)に「②意見聴取」を行い、検討します。

教育委員会は、審議会からの「③答申」を受けて、教育環境の整備についての「④方策の決定」を行います。



## 2 検討のための基準

「横須賀市立小・中学校適正規模及び適正配置に関する基本方針」において、検討のための基準は、学校規模については、小学校で11学級以下または31学級以上の場合、中学校で5学級以下または31学級以上の場合としています。

また、通学距離については、小学校で2キロメートル程度を超える場合、中学校で3キロメートル程度を超える場合としています。

しかしながら、通学距離については、学校の立地によって自然環境、その他住宅の偏在など地理的条件により、この基準を超える地域がありますが、市内の公共交通機関の整備状況等、生活圏の実情や地域の特性を勘案し判断します。

### ■検討のための基準

	小学校	中学校
学校規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>●11学級以下の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えができない学年がある</li> </ul> </li> <li>●31学級以上の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6学級以上となる学年がある</li> <li>・特別教室の割り振りなど、施設面での制約が出る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●5学級以下の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えができない学年がある</li> <li>・10科目の教員が規定上、配置できない</li> </ul> </li> <li>●31学級以上の場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・11学級以上となる学年がある</li> <li>・特別教室、体育館の割り振りや部活動の場所の確保など、施設面での制約が出る</li> </ul> </li> </ul>
通学距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2キロメートル程度を超える場合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3キロメートル程度を超える場合</li> </ul>

出典：横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針

検討地域・対象校の決定については、検討のための基準を原則として、全市及び各地域の将来像を見据えながら、小規模校対策だけではなく、小中一貫教育ブロックや飛び地に係る通学区域の整理、学校施設の老朽化などの状況を総合的に判断して行います。

### 3 検討地域・対象校

#### (1) 検討地域・対象校

前期計画における検討地域・対象校は、田浦地域の田浦小学校・長浦小学校（田浦行政センター区・田浦中学校区）と走水・馬堀地域の走水小学校・馬堀小学校（大津行政センター区・馬堀中学校区）とします。

後期計画における検討地域・対象校は、逸見・中央地域の逸見小学校・沢山小学校・桜小学校・汐入小学校（逸見行政センター区・本庁地区・坂本中学校区）とします。

各地域・小中学校には複数の課題や、将来的に課題が生じる見込みがある地域があります。これらの地域の課題は、一度の検討では解決できないため、段階的に検討していくこととなります。

令和4年度（2022年度）から7年度（2025年度）の前期計画においては、まず、検討地域・対象校が直面している課題の解決に向けた検討を行います。

令和8年度（2026年度）以降については、令和7年度（2025年度）の後期計画の見直しにおいて、児童生徒・学級数の推移や学校施設の状況等を勘案し、新たに検討地域・対象校を追加するとともに、段階的な検討が必要な場合は、引き続き、将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討を行います。

#### ■検討スケジュール

地域	行政区 (中学校区)	前期計画				後期計画				次期計画
	対象校	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12 以降
田浦地域	田浦行政 (田浦中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討				
	田浦小 長浦小									
走水・馬堀地域	大津行政 (馬堀中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討				
	走水小 馬堀小									
逸見・中央地域	逸見行政 本庁 (坂本中)	協議会の 設置・検討				【段階的な 検討が必要 な場合】 将来を見据 えた地域全 体の学校配 置の再検討				
	逸見小 沢山小 桜小 汐入小									
地域未定	行政区 (中学校区) 未定	協議会の 設置・検討				協議会の 設置・検討				
	対象校 未定									

後期計画の見直し

次期計画の策定

(2) 検討地域・対象校の概要

ア 田浦地域(前期計画)

田浦地域の田浦中学校区にある2つの小学校(田浦小・長浦小)の小規模化が進んでいます。田浦小は平成29年度(2017年度)から、長浦小は平成27年度(2015年度)から全学年が単学級となっていて、今後も児童数の減少が見込まれています。

田浦小については、校舎の築年数が68年と市内で最も古いため、建て替えを検討する時期にきていますが、防災面や周辺道路の状況からさまざまな課題があるため、規模の適正化と合わせて検討する必要があります。

船越小については、建物の一部がレッドゾーンに該当していることや校地面積が狭いことから、将来の建て替えの際には考慮が必要となっています。

■対象校の課題

(令和3年5月1日現在)

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
田浦小	● (6学級)	—	—	● (築68年)	●
長浦小	● (6学級)	—	—	—	●
船越小 (参考)	—	—	—	—	●
田浦中 (参考)	—	● (約3.6km)	—	—	●

■対象校の現状

(令和3年5月1日現在)

学校名		田浦小			長浦小			船越小(参考)			田浦中(参考)					
児童・生徒 学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	生徒数			学級数
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1年	11	10	21	1	12	18	30	1	27	32	59	2	81	69	150	4
2年	7	13	20	1	1	15	16	1	26	30	56	2	78	67	145	4
3年	12	11	23	1	20	12	32	1	34	26	60	2	79	61	140	4
4年	11	13	24	1	10	8	18	1	35	40	75	2				
5年	20	12	32	1	13	12	25	1	42	42	84	3				
6年	9	14	23	1	14	11	25	1	36	41	77	2				
特別支援	(12)			3	(4)			2	(16)			4	(16)			3
計	143			9	146			8	411			17	435			15
教員数		18人			17人			31人			35人					
学校施設	校地面積	7,338.04 m <sup>2</sup>			17,492.72 m <sup>2</sup>			9,910.68 m <sup>2</sup>			31,601.65 m <sup>2</sup>					
	プール	なし			あり			なし			あり					
設置年月日		T12年(1923年) 4月1日			M6年(1873年) 6月5日			M20年(1887年) 11月19日			S22年(1947年) 12月12日					
建築年度		S28年(1953年)			H3年(1991年)			S40年(1965年)			S41年(1966年)					

※ ( ) 内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和3年7月推計)

学校名		R3年度 (実数)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
田浦小	児童数	143	144	135	130	122	117	112
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3
長浦小	児童数	146	141	136	136	119	122	111
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2
船越小 (参考)	児童数	411	383	344	314	296	277	241
	学級数	通常	13	13	12	12	12	12
		特支	4	4	4	4	4	4
田浦中 (参考)	生徒数	435	410	394	353	345	293	282
	学級数	通常	12	11	11	10	10	8
		特支	3	3	3	3	3	3



## イ 走水・馬堀地域（前期計画）

走水・馬堀地域の2つの中学校区（大津中・馬堀中）のうち、馬堀中学校区にある3つの小学校（走水小・馬堀小・望洋小）の小規模化が進んでいます。特に走水小は児童数が52人と市内で最も小規模となっており、隣接する馬堀小も単学級が存在する小規模校で、今後も児童数、学級数の減少が見込まれています。

また、望洋小は12学級を維持していますが、学区内の大規模開発から20年が経過した現在、小規模化が進みつつあり、令和5年度（2023年度）以降は単学級が出現し、令和9年度（2027年度）には9学級となることが見込まれています。

そこで、まずは走水小と馬堀小の規模適正化の検討を行うこととしますが、将来的には、馬堀中、馬堀小の校舎建て替え時期に合わせて、望洋小も含めた馬堀中学校区全体で小中一貫教育の観点も踏まえた学校の再配置を検討する必要があります。

### ■対象校の課題

（令和3年5月1日現在）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 （築60年以上）	レッドゾーン
走水小	● (6学級)	—	—	—	●
馬堀小	● (11学級)	—	—	—	—
望洋小 (参考)	—	● (飛び地)	—	—	●
馬堀中 (参考)	—		● (*)	—	●

\*馬堀中の小中一貫教育ブロック不一致は、望洋小の一部が浦賀中に指定されていることによるもの

■対象校の現状

(令和3年5月1日現在)

学校名		走水小			馬堀小				望洋小(参考)				馬堀中(参考)			
児童・生徒 学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	生徒数			学級数
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1年	4	2	6	1	25	20	45	2	18	28	46	2	30	35	65	2
2年	8	6	14	1	18	14	32	1	24	22	46	2	44	39	83	3
3年	5	2	7	1	25	28	53	2	31	15	46	2	49	38	87	3
4年	2	6	8	1	25	24	49	2	20	28	48	2				
5年	10	4	14	1	27	19	46	2	35	20	55	2				
6年	1	2	3	1	21	22	43	2	32	26	58	2				
特別支援	(6)			1	(12)			4	(13)			3	(7)			2
計	52			7	268			15	299			15	235			10
教員数		16人			25人				26人				24人			
学校 施設	校地面積	8,688.82㎡			17,599.59㎡				20,086.80㎡				26,900.06㎡			
	プール	なし			あり				あり				あり			
設置年月日		M6年(1873年) 9月1日			S26年(1951年) 10月1日				S50年(1975年) 4月1日				S22年(1947年) 5月5日			
建築年度		S49年(1974年)			S46年(1971年)				S49年(1974年)				S41年(1966年)			

※( )内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和3年7月推計)

学校名			R3年度 (実数)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
走水小	児童数		52	54	49	56	55	57	64
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6	6
		特支	1	1	1	1	1	1	1
馬堀小	児童数		268	257	248	240	233	242	234
	学級数	通常	11	11	10	10	10	11	10
		特支	4	4	4	4	4	4	4
望洋小 (参考)	児童数		299	277	256	236	226	221	204
	学級数	通常	12	12	11	10	10	10	9
		特支	3	3	3	3	3	3	3
馬堀中 (参考)	生徒数		235	220	225	238	251	236	223
	学級数	通常	8	7	7	7	8	7	7
		特支	2	2	2	2	2	2	2

### ウ 逸見・中央地域（後期計画）

逸見・中央地域の坂本中学校区にある4つの小学校（逸見小・沢山小・桜小・汐入小）全てで小規模化が進んでいます。特に逸見小・沢山小・汐入小は、全ての学年が単学級となっています。桜小についても単学級の学年が存在する小規模校となっており、令和9年度（2027年度）には、全ての学年が単学級になる見込みです。

また、学校施設の老朽化も進んでおり、逸見小は築65年、沢山小は築61年、汐入小と坂本中が築58年で建て替えを検討する時期が来ているため、規模の適正化と合わせて検討する必要があります。

なお、不入斗中学校区の豊島小も小規模化が進んでおり、学校施設も築66年となっています。

そこで、まずは、小規模化と学校施設の老朽化が進んでいる坂本中学校区の4つの小学校について学校配置の見直しを検討します。将来的には、坂本中学校区と不入斗中学校区において、小中一貫教育の観点も踏まえた学校の再配置を検討する必要があります。

#### ■対象校の課題

（令和3年5月1日現在）

学校名	小規模校	遠距離	小中一貫教育 ブロック不一致	老朽化 (築60年以上)	レッドゾーン
逸見小	● (6学級)	—	—	● (築65年)	●
沢山小	● (6学級)	—	—	● (築61年)	●
桜小	● (10学級)	—	—	—	—
汐入小	● (6学級)	—	—	—	●
豊島小 (参考)	● (11学級)	—	—	● (築66年)	●
鶴久保小 (参考)	—	—	—	—	—
坂本中 (参考)	—	—	—	—	●
不入斗中 (参考)	—	—	—	—	—

■対象校の現状

(令和3年5月1日現在)

学校名		逸見小			沢山小			桜小			汐入小						
児童・学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	児童数			学級数					
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		
	1年	6	8	14	1	10	9	19	1	17	25	42	2	11	10	21	1
	2年	2	3	5	1	4	9	13	1	22	23	45	2	9	6	15	1
	3年	7	9	16	1	7	7	14	1	19	24	43	2	7	7	14	1
	4年	7	6	13	1	7	11	18	1	31	22	53	2	8	11	19	1
	5年	9	9	18	1	7	8	15	1	17	23	40	1	7	11	18	1
	6年	9	9	18	1	9	11	20	1	21	15	36	1	5	6	11	1
	特別支援	(11)			3	(6)			3	(7)			2	(11)			2
	計	84			9	99			9	259			12	98			8
教員数		21人			18人			23人			17人						
学校施設	校地面積	5,574.17 m <sup>2</sup>			6,282.46 m <sup>2</sup>			13,875.70 m <sup>2</sup>			7,441.76 m <sup>2</sup>						
	プール	なし			なし			あり			なし						
設置年月日		M6年(1873年) 5月9日			M44年(1911年) 11月1日			H11年(1999年) 4月1日			M5年(1872年) 5月8日						
建築年度		S31年(1956年)			S35年(1960年)			S56年(1981年)			S38年(1963年)						

学校名		豊島小(参考)			鶴久保小(参考)			坂本中(参考)			不入斗中(参考)						
児童・学級数	児童数			学級数	児童数			学級数	生徒数			学級数	生徒数			学級数	
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計		
	1年	26	18	44	2	45	45	90	3	50	50	100	3	58	60	118	3
	2年	21	25	46	2	50	24	74	2	50	65	115	3	61	56	117	3
	3年	20	19	39	2	41	39	80	3	61	52	113	3	68	81	149	4
	4年	23	26	49	2	56	50	106	3	\			\				
	5年	20	22	42	1	53	40	93	3								
	6年	21	22	43	2	43	49	92	3								
	特別支援	(15)			4	(24)			6	(21)			4	(8)			2
	計	263			15	535			23	328			13	384			12
教員数		24人			36人			34人			29人						
学校施設	校地面積	10,112.40 m <sup>2</sup>			21,410.46 m <sup>2</sup>			55,227.23 m <sup>2</sup>			27,068.82 m <sup>2</sup>						
	プール	あり			あり			あり			あり						
設置年月日		M5年(1872年) 6月22日			M41年(1908年) 9月1日			S22年(1947年) 5月5日			S22年(1947年) 5月5日						
建築年度		S30年(1955年)			S44年(1969年)			S38年(1963年)			S48年(1973年)						

※ ( ) 内は、特別支援学級の再掲

■将来推計

(令和3年7月推計)

学校名		R3年度 (実数)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
逸見小	児童数	84	75	72	68	62	70	62
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3
沢山小	児童数	99	92	95	87	89	90	79
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	3	3	3	3	3	3
桜小	児童数	259	257	247	222	203	188	168
	学級数	通常	10	10	10	9	8	7
		特支	2	2	2	2	2	2
汐入小	児童数	98	101	96	91	89	86	75
	学級数	通常	6	6	6	6	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2
豊島小 (参考)	児童数	263	253	252	252	253	236	219
	学級数	通常	11	11	11	11	12	11
		特支	4	4	4	4	4	4
鶴久保小 (参考)	児童数	535	520	510	476	449	433	399
	学級数	通常	17	17	17	17	17	16
		特支	6	6	6	6	6	6
坂本中 (参考)	生徒数	328	315	306	312	305	287	290
	学級数	通常	9	9	9	9	9	9
		特支	4	4	4	4	4	4
不入斗中 (参考)	生徒数	384	358	364	393	378	374	344
	学級数	通常	10	10	11	12	11	10
		特支	2	2	2	2	2	2



# 《 参考資料 》

# 1 各行政センター区域の通学区域図及び児童生徒数推移

## (1) 追浜行政センター区域

### ■通学区域図

小学校区（追浜小・夏島小・浦郷小・鷹取小）

約 1/33200



出典：国土地理院基盤地図

中学校区（追浜中・鷹取中）

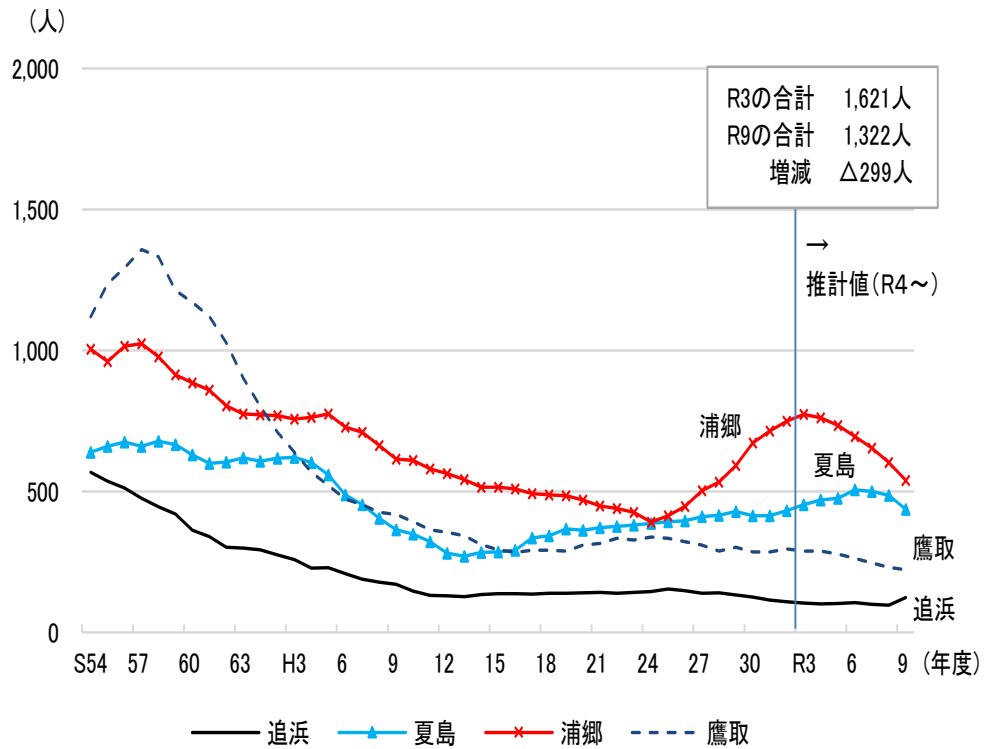
約 1/33200



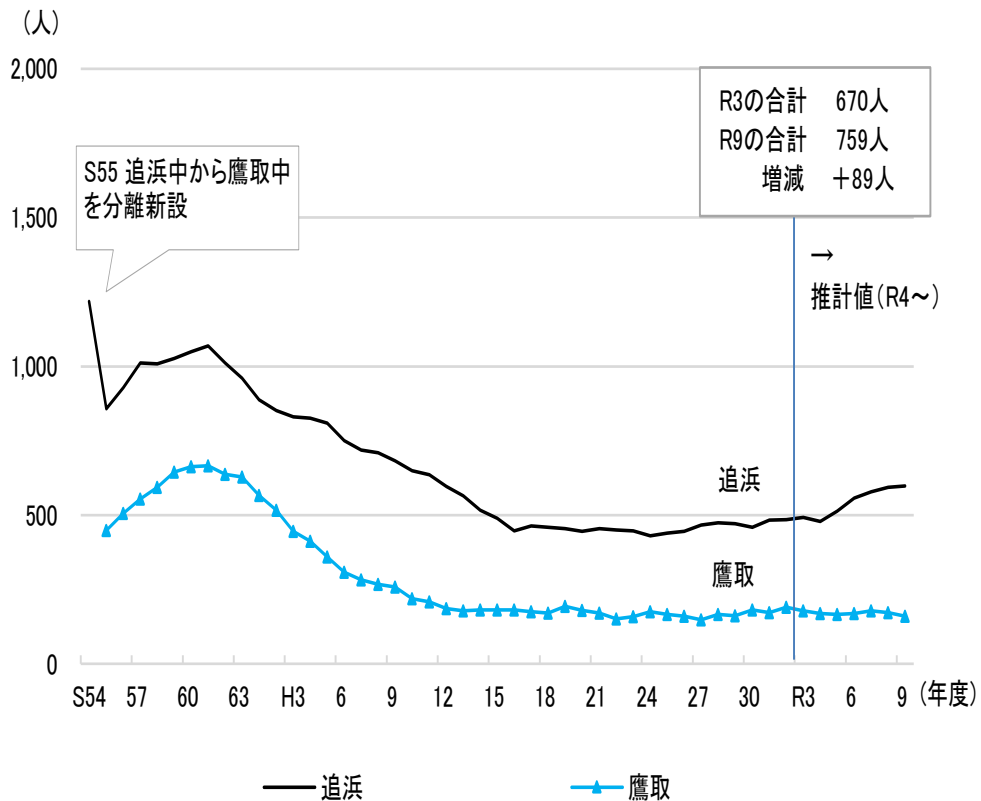
出典：国土地理院基盤地図



■ 児童数推移



■ 生徒数推移



(2) 田浦行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (船越小・田浦小・長浦小)

約 1/36600



出典：国土地理院基盤地図

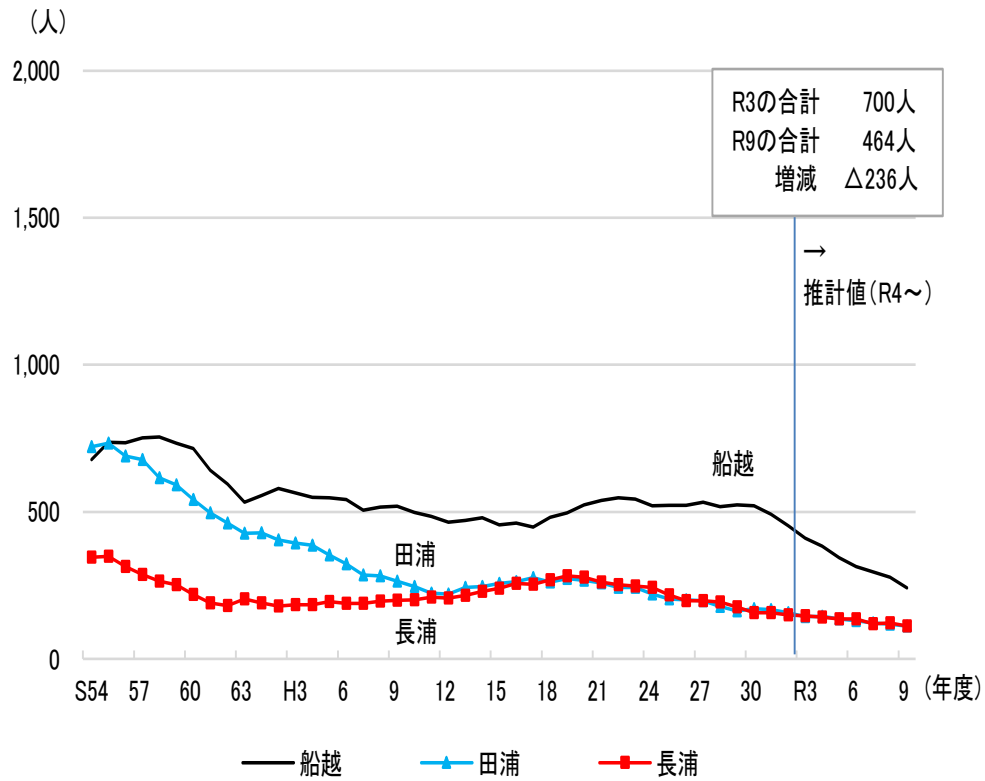
中学校区 (田浦中)

約 1/36600

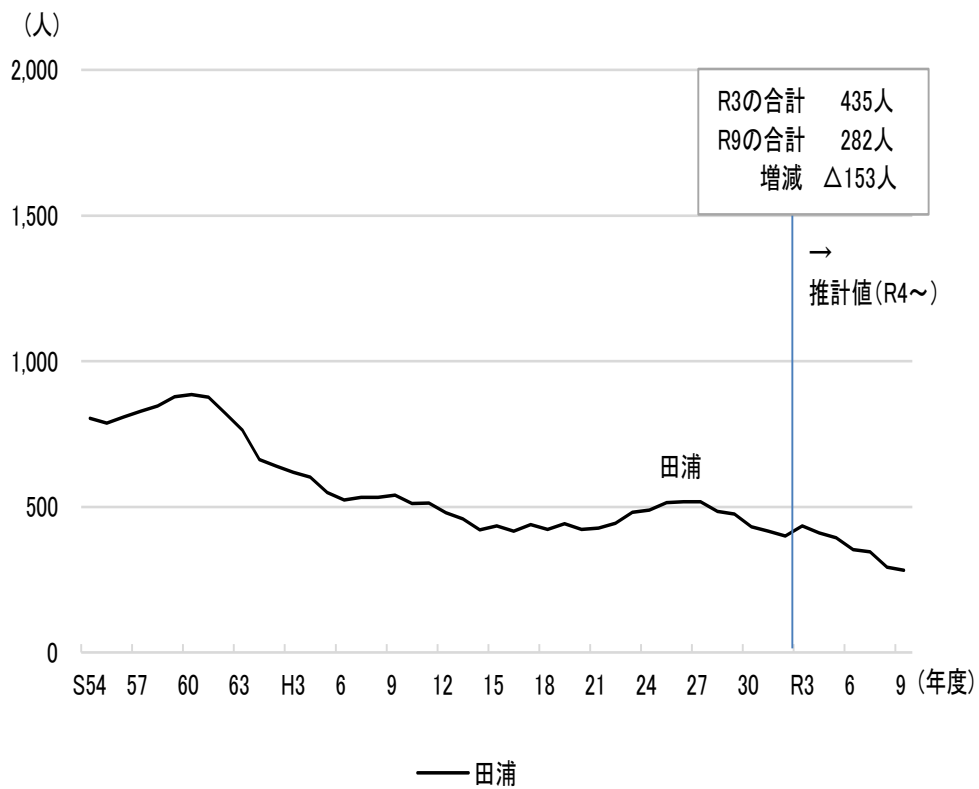


出典：国土地理院基盤地図

■児童数推移



■生徒数推移



(3) 逸見行政センター・本庁区域

■通学区域図

小学校区（逸見小・沢山小・桜小・汐入小・諏訪小・田戸小・豊島小・鶴久保小）

約 1/45100



出典：国土地理院基盤地図

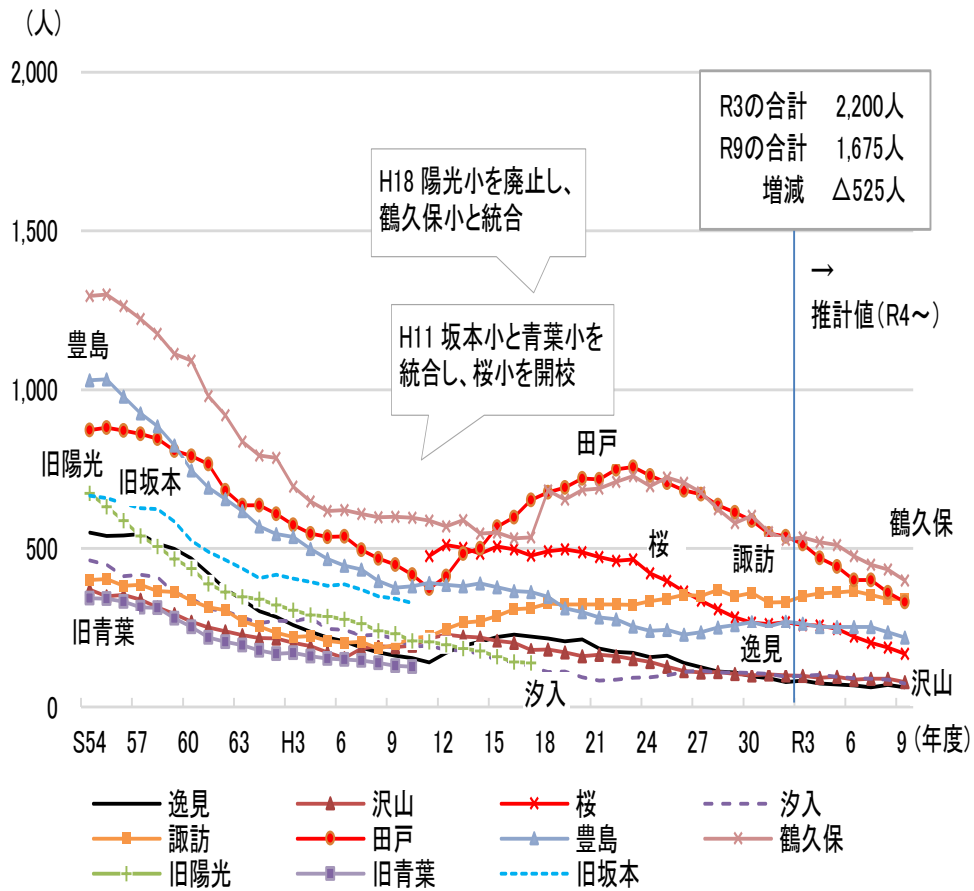
中学校区（坂本中・不入斗中・常葉中）

約 1/45100

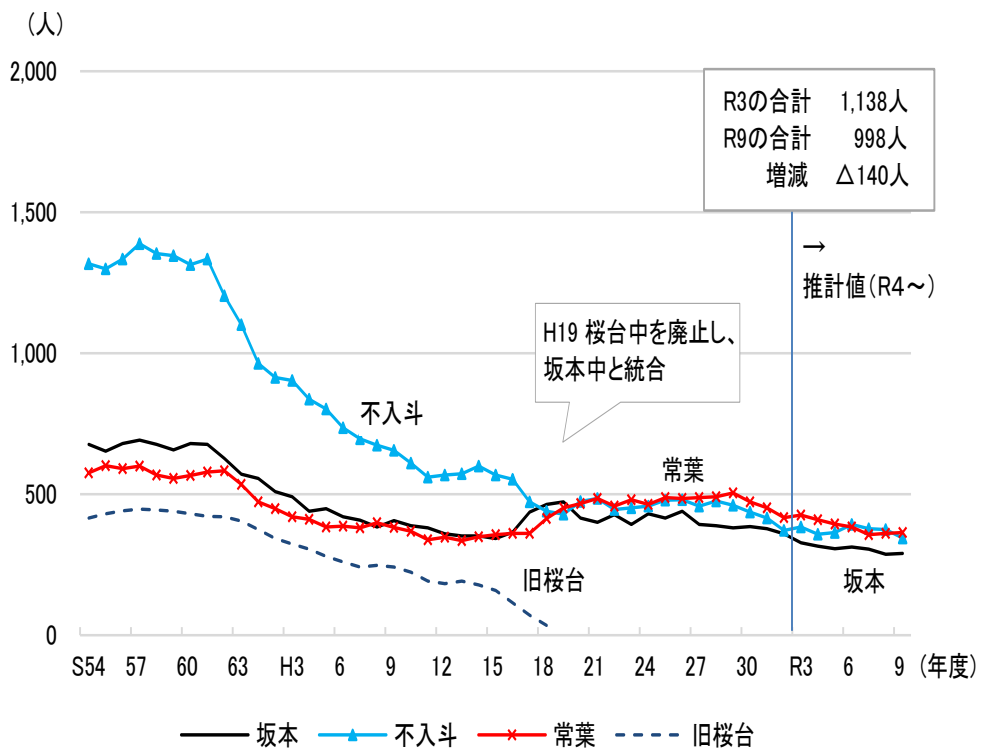


出典：国土地理院基盤地図

■ 児童数推移



■ 生徒数推移

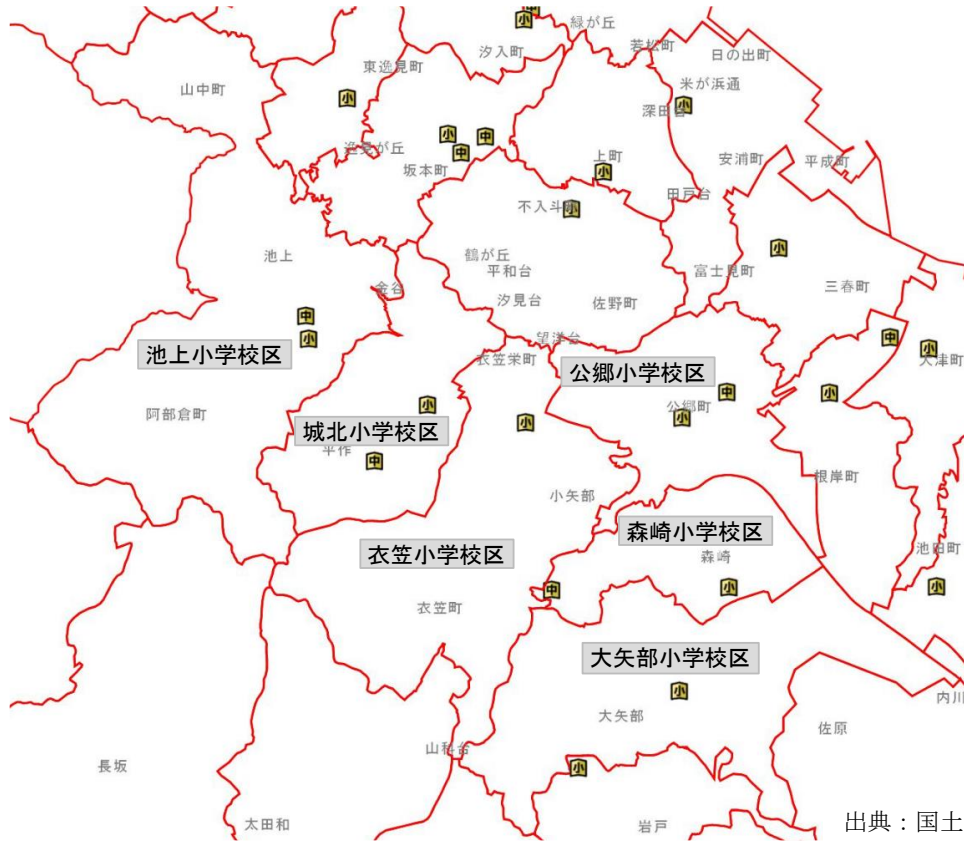


(4) 衣笠行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (公郷小・池上小・城北小・衣笠小・大矢部小・森崎小)

約 1/50300



出典：国土地理院基盤地図

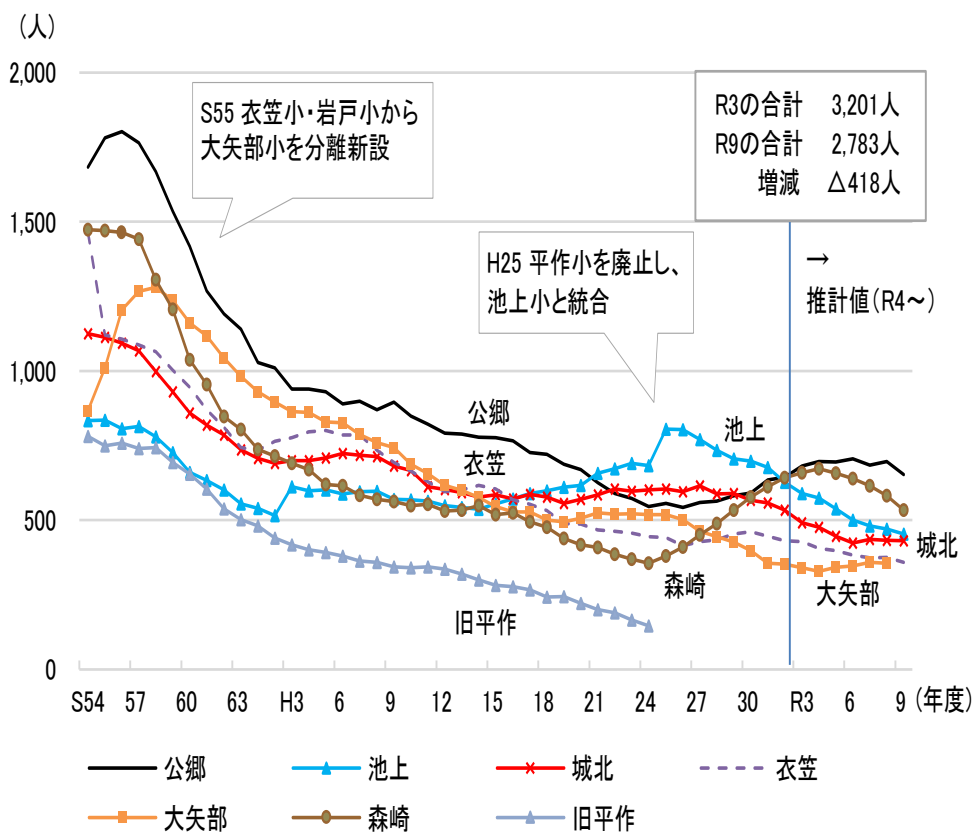
中学校区 (公郷中・池上中・衣笠中・大矢部中)

約 1/52400

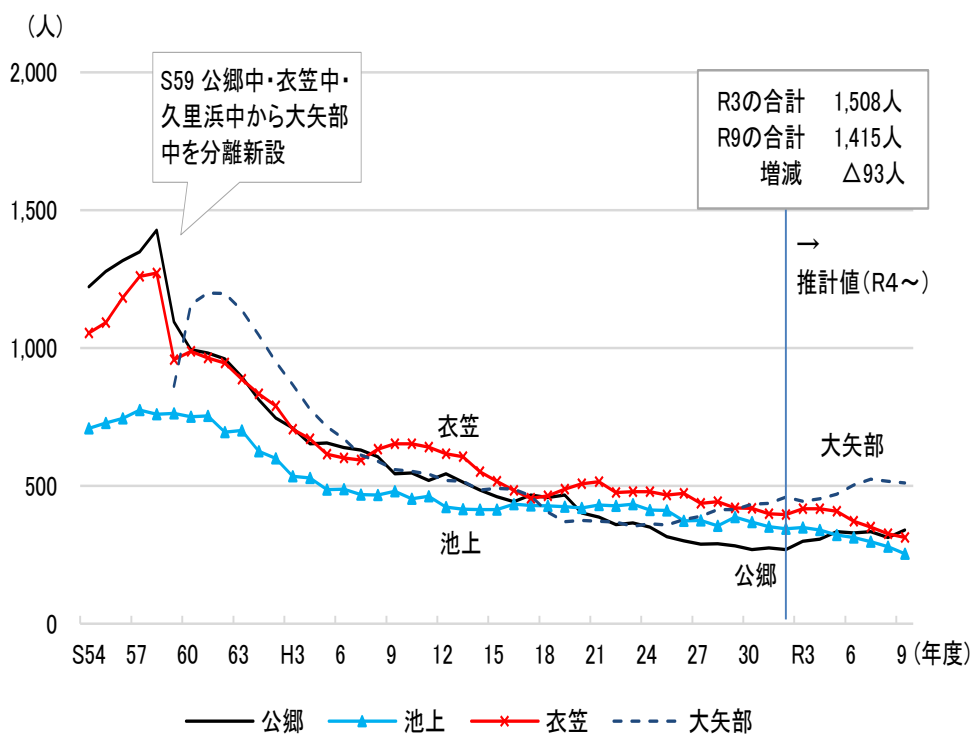


出典：国土地理院基盤地図

■ 児童数推移



■ 生徒数推移



(5) 大津行政センター区域

■通学区区域

小学校区 (山崎小・大津小・根岸小・走水小・馬堀小・望洋小)

約 1/31300



出典：国土地理院基盤地図

中学校区 (大津中・馬堀中)

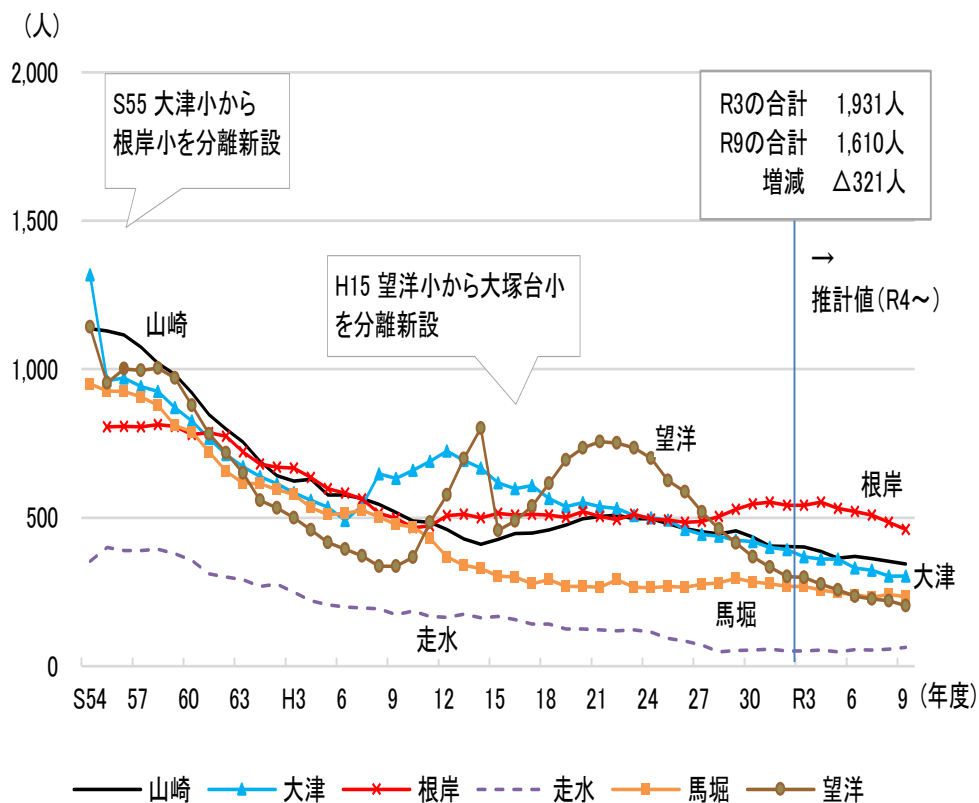
約 1/31300



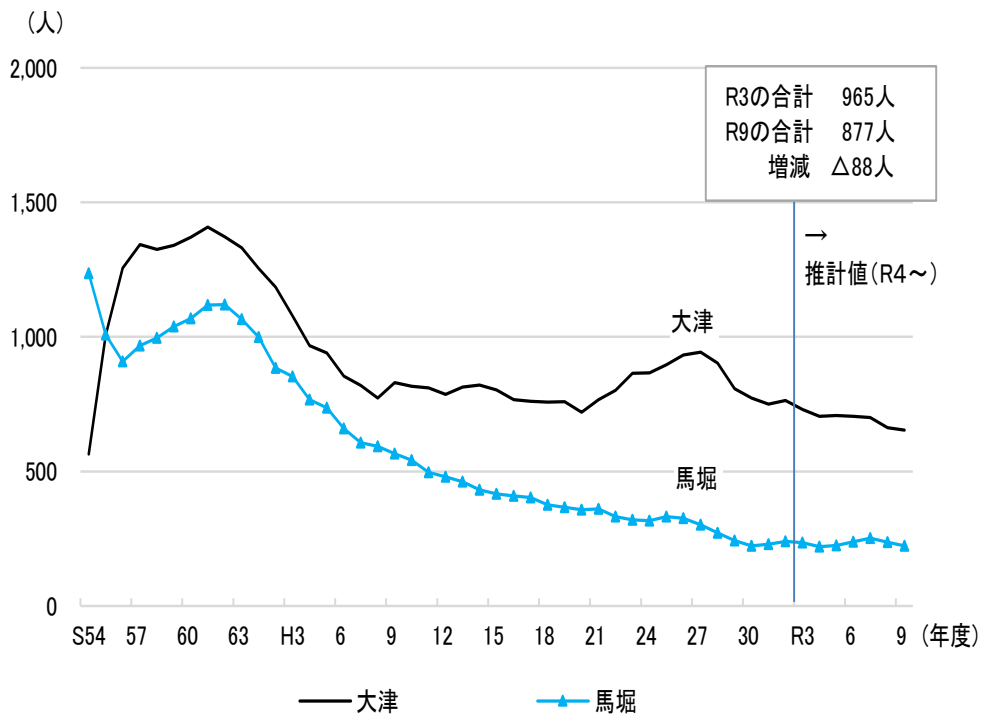
出典：国土地理院基盤地図



■ 児童数推移



■ 生徒数推移

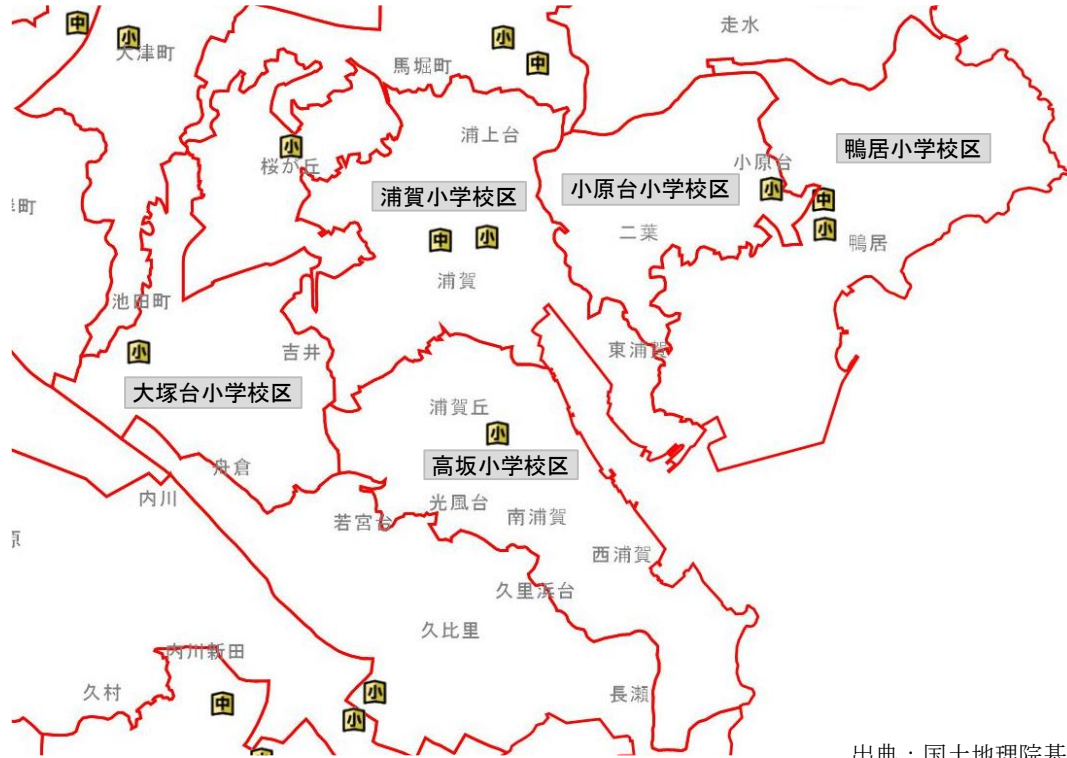


(6) 浦賀行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (大塚台小・浦賀小・小原台小・鴨居小・高坂小)

約 1/38400



出典：国土地理院基盤地図

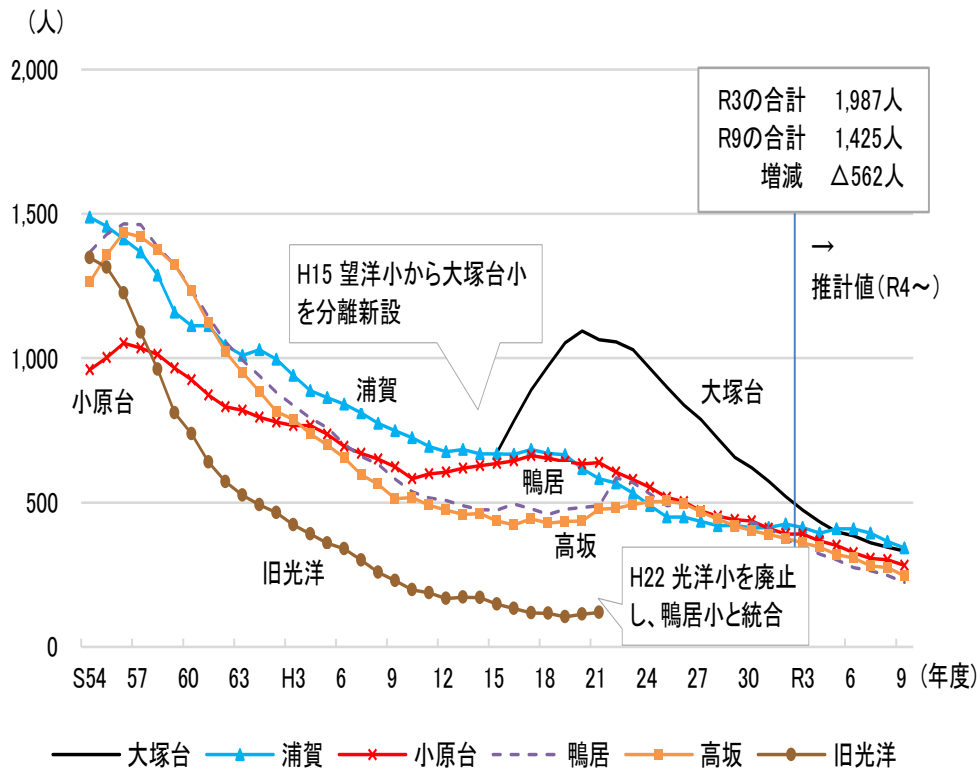
中学校区 (浦賀中、鴨居中)

約 1/38400

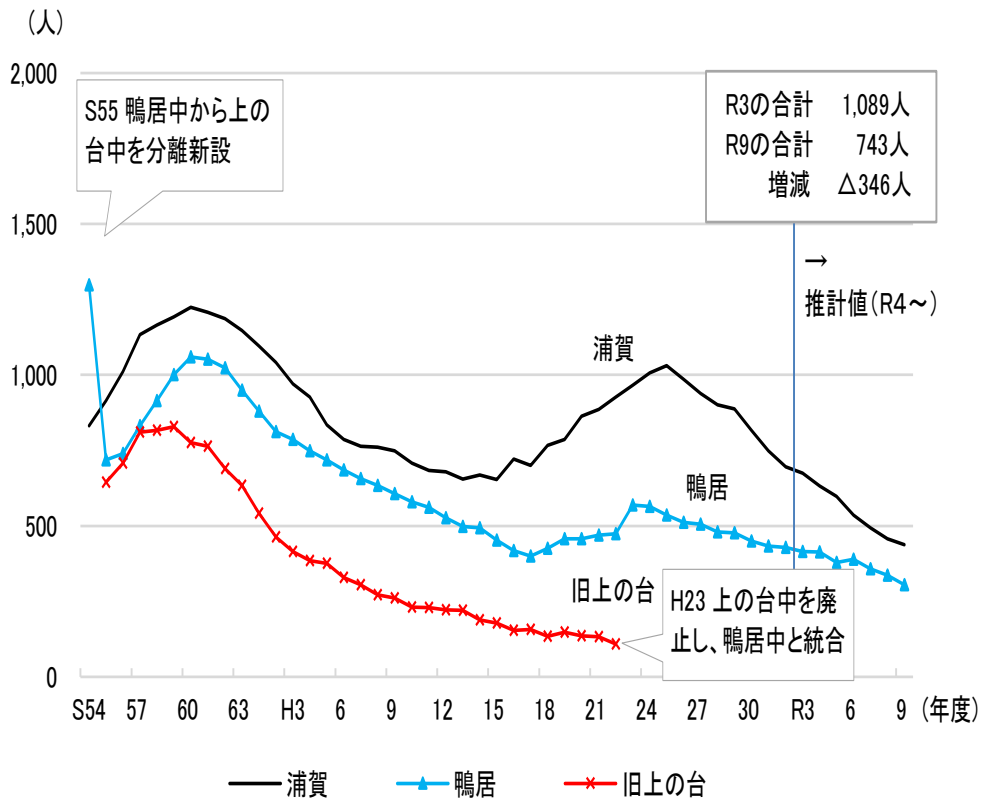


出典：国土地理院基盤地図

■ 児童数推移



■ 生徒数推移



(7) 久里浜行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (岩戸小・久里浜小・明浜小・神明小)

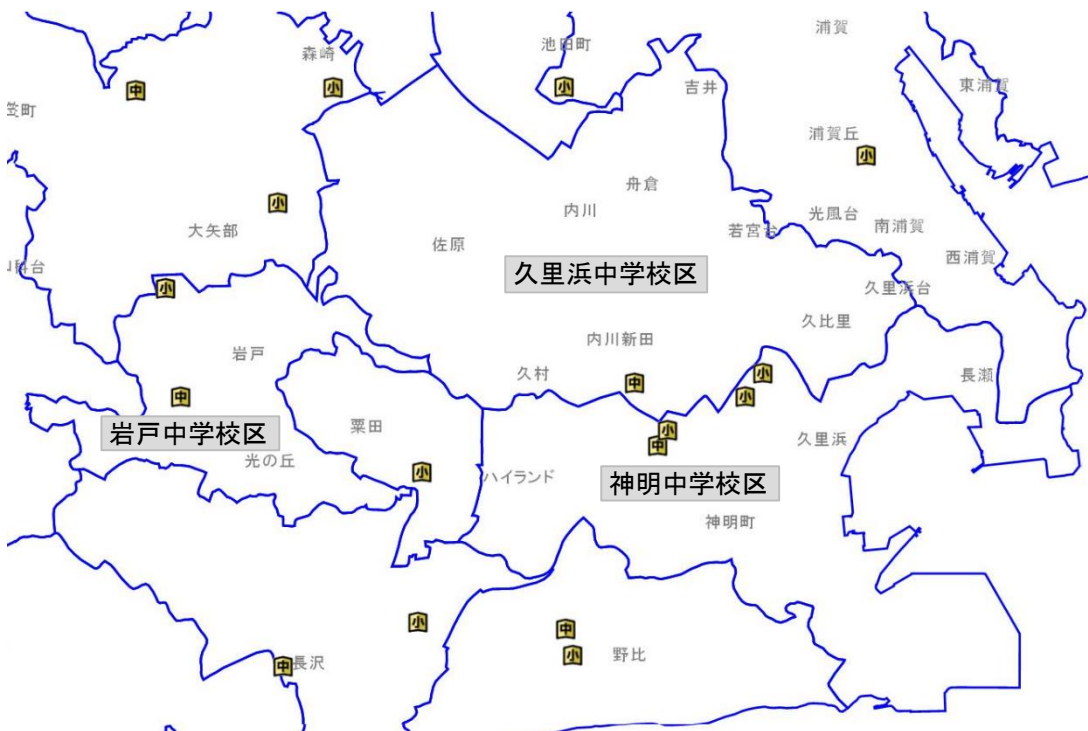
約 1/43100



出典：国土地理院基盤地図

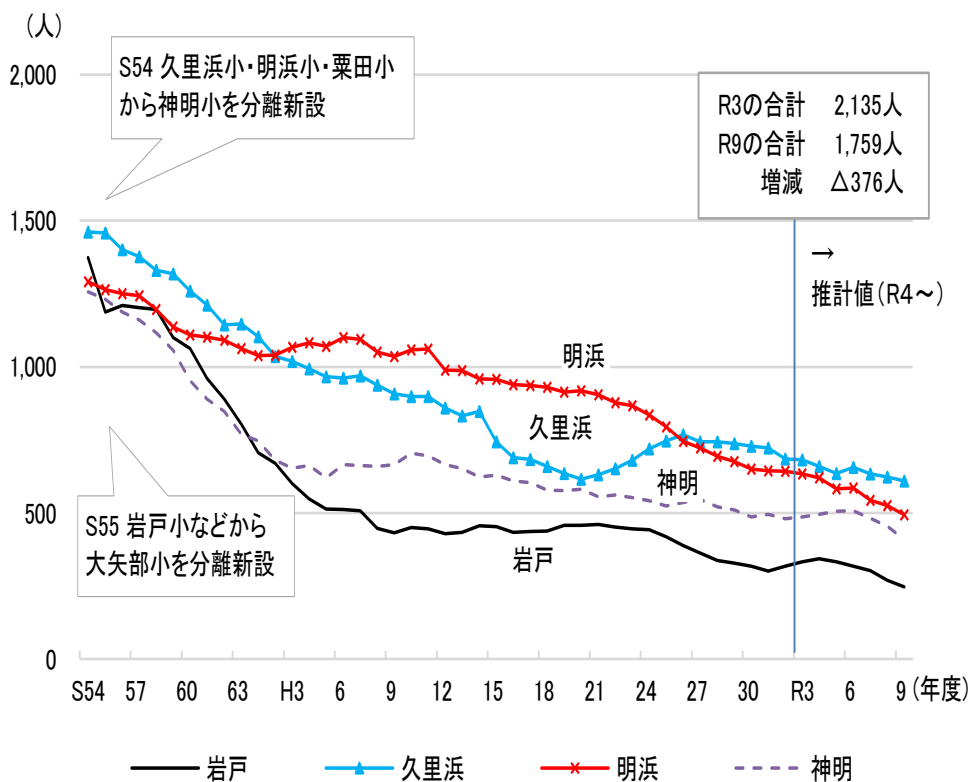
中学校区 (岩戸中・久里浜中・神明中)

約 1/46700

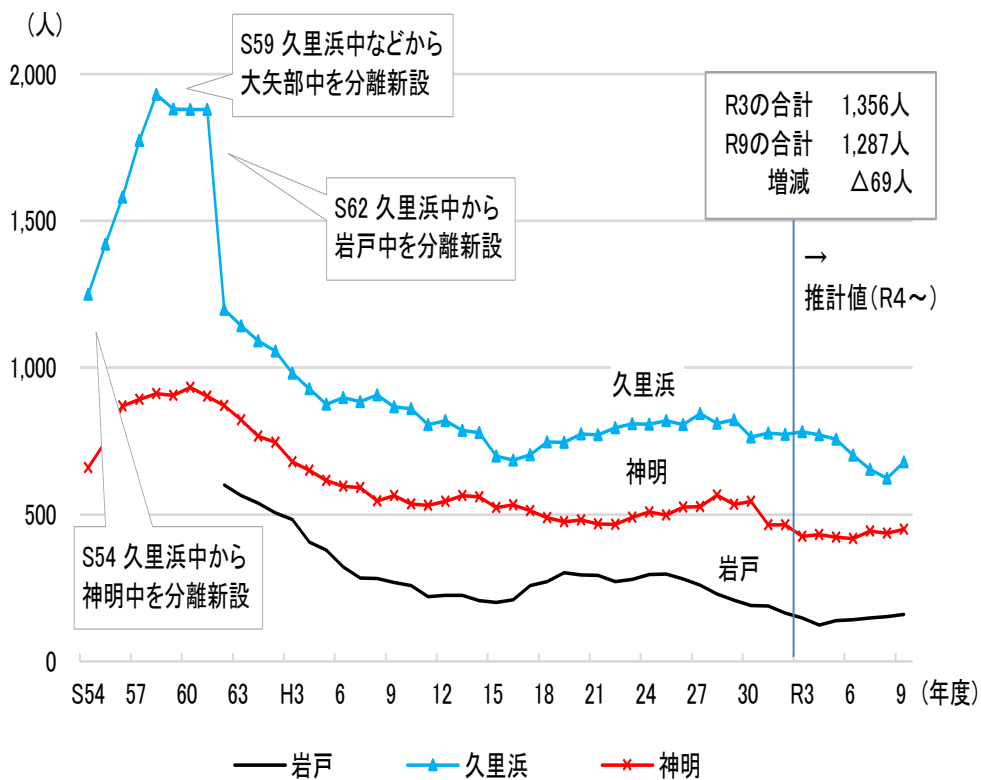


出典：国土地理院基盤地図

■ 児童数推移



■ 生徒数推移



(8) 北下浦行政センター区域

■通学区域図

小学校区 (粟田小・野比小・野比東小・北下浦小・津久井小) 約 1/44900



出典：国土地理院基盤地図

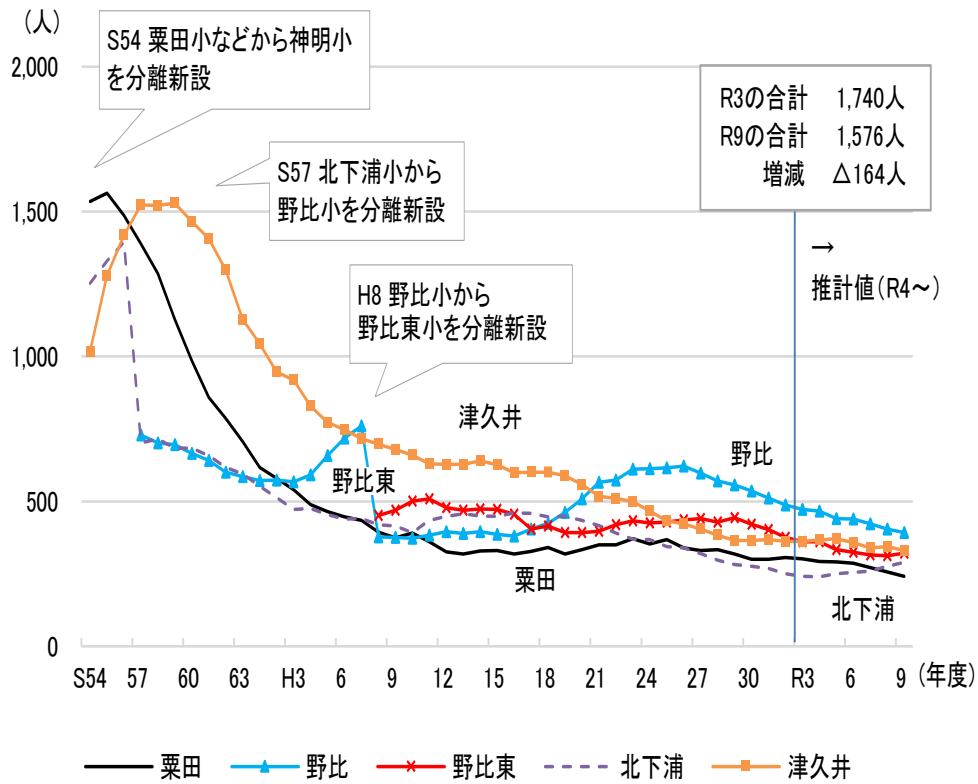
中学校区 (野比中・北下浦中・長沢中)

約 1/44900

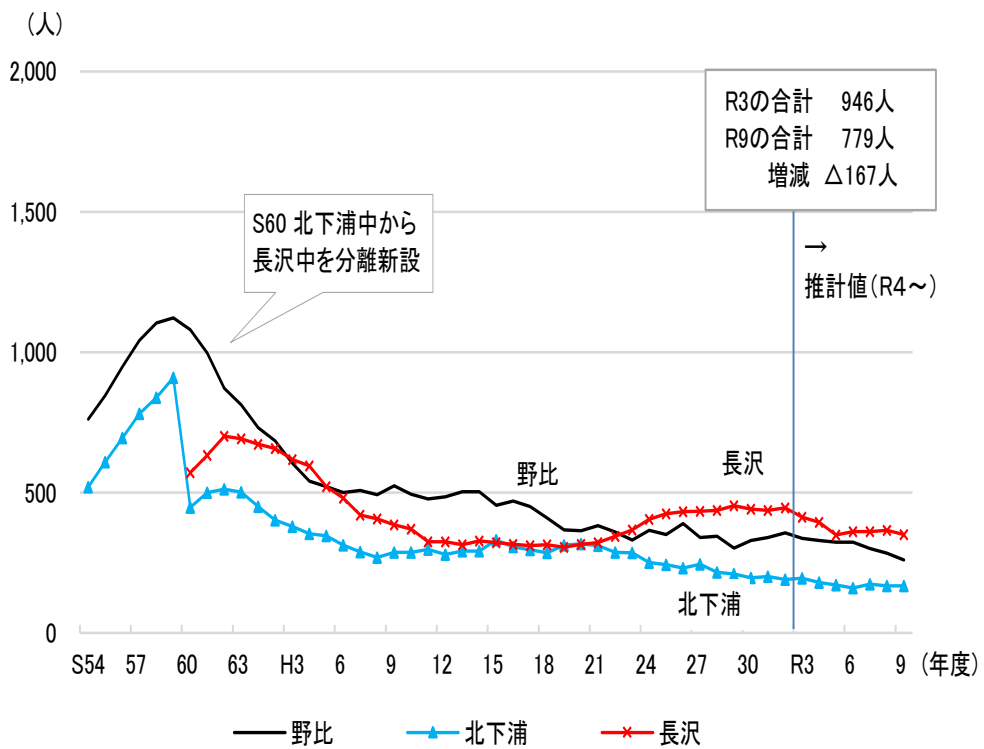


出典：国土地理院基盤地図

■ 児童数推移



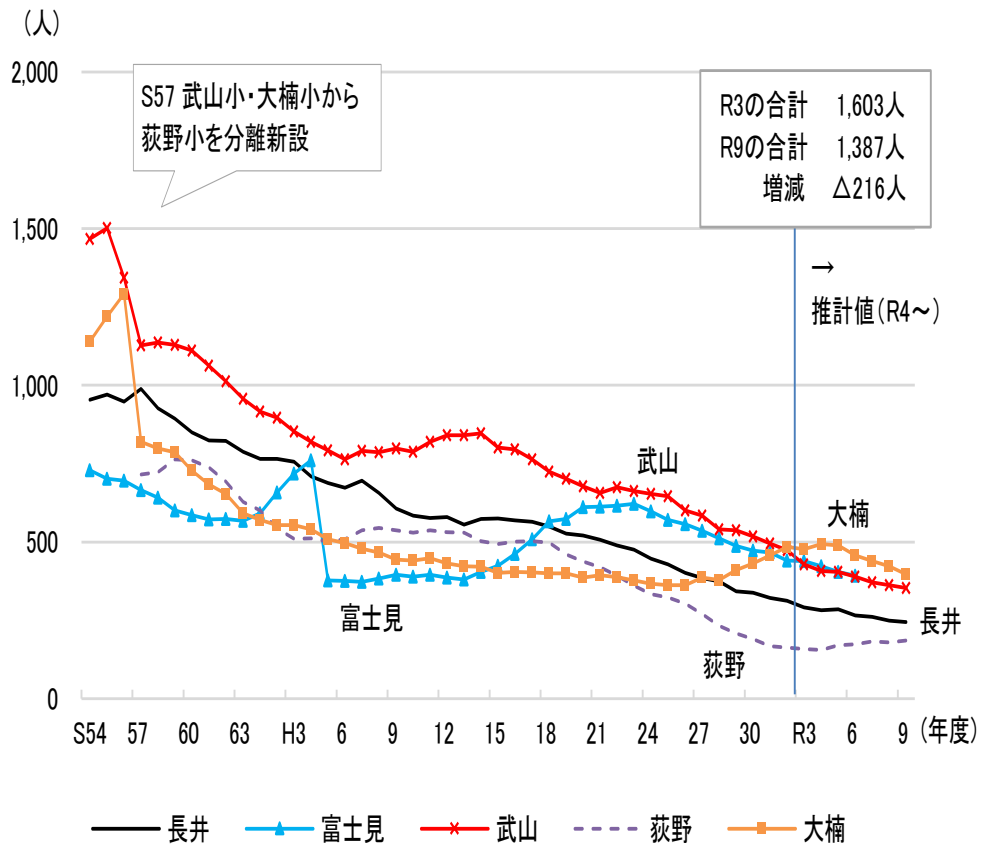
■ 生徒数推移



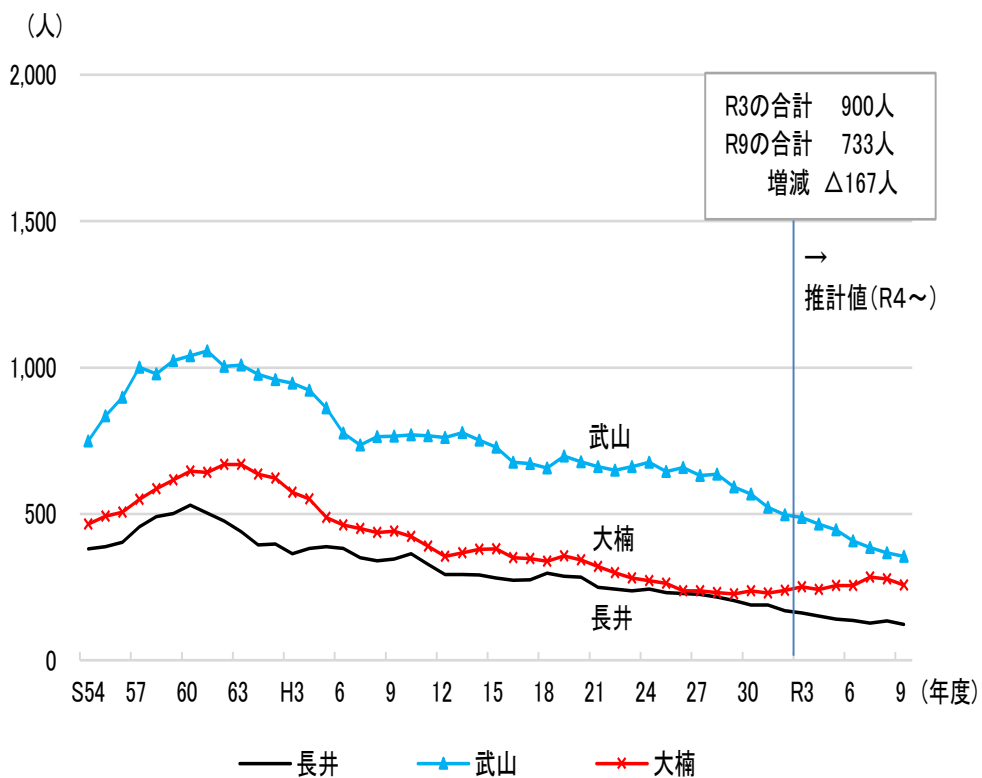




■ 児童数推移



■ 生徒数推移



## 2 児童生徒・学級数推計一覧（令和3年7月推計）

### 【小学校】

学校名		令和3年度(実数)		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1	追浜	105	8(2)	102	8(2)	103	8(2)	107	8(2)
2	夏島	453	18(4)	470	19(4)	477	20(4)	506	21(4)
3	浦郷	774	28(4)	761	28(4)	734	27(4)	695	27(4)
4	鷹取	289	14(3)	289	15(3)	278	15(3)	264	15(3)
5	船越	411	17(4)	383	17(4)	344	16(4)	314	16(4)
6	田浦	143	9(3)	144	9(3)	135	9(3)	130	9(3)
7	長浦	146	8(2)	141	8(2)	136	8(2)	136	8(2)
8	逸見	84	9(3)	75	9(3)	72	9(3)	68	9(3)
9	沢山	99	9(3)	92	9(3)	95	9(3)	87	9(3)
10	桜	259	12(2)	257	12(2)	247	12(2)	222	11(2)
11	汐入	98	8(2)	101	8(2)	96	8(2)	91	8(2)
12	諏訪	349	15(3)	358	15(3)	361	15(3)	365	15(3)
13	田戸	513	22(5)	470	21(5)	442	20(5)	400	19(5)
14	山崎	401	17(3)	387	16(3)	364	16(3)	370	16(3)
15	豊島	263	15(4)	253	15(4)	252	15(4)	252	15(4)
16	鶴久保	535	23(6)	520	23(6)	510	23(6)	476	23(6)
17	公郷	682	25(5)	696	26(5)	695	27(5)	706	28(5)
18	池上	589	24(6)	574	24(6)	538	24(6)	501	23(6)
19	城北	491	20(3)	476	20(3)	446	19(3)	424	18(3)
20	衣笠	428	17(5)	406	17(5)	398	17(5)	382	17(5)
21	大矢部	353	15(3)	340	15(3)	328	15(3)	342	15(3)
22	森崎	658	28(7)	672	28(7)	657	28(7)	639	28(7)
23	大津	369	15(3)	361	15(3)	361	15(3)	330	15(3)
24	根岸	542	24(6)	553	24(6)	532	24(6)	520	24(6)
25	走水	52	7(1)	54	7(1)	49	7(1)	56	7(1)
26	馬堀	268	15(4)	257	15(4)	248	14(4)	240	14(4)
27	望洋	299	15(3)	277	15(3)	256	14(3)	236	13(3)
28	大塚台	474	20(5)	433	18(5)	398	17(5)	384	17(5)
29	浦賀	413	17(3)	394	16(3)	408	17(3)	408	17(3)
30	小原台	390	15(3)	367	15(3)	351	15(3)	326	15(3)
31	鴨居	350	15(3)	321	15(3)	302	15(3)	274	15(3)
32	高坂	360	15(3)	346	15(3)	319	15(3)	307	15(3)
33	岩戸	333	15(3)	344	15(3)	333	15(3)	317	15(3)
34	久里浜	682	28(8)	660	29(8)	635	29(8)	656	30(8)
35	明浜	634	23(4)	620	23(4)	582	22(4)	586	22(4)
36	神明	486	20(5)	496	21(5)	506	22(5)	508	22(5)
37	粟田	302	14(2)	293	14(2)	291	14(2)	287	14(2)
38	野比	473	19(3)	467	19(3)	440	18(3)	439	18(3)
39	野比東	361	16(4)	361	16(4)	334	16(4)	324	16(4)
40	北下浦	241	14(4)	240	13(4)	251	14(4)	255	14(4)
41	津久井	363	15(3)	367	15(3)	372	15(3)	358	15(3)
42	長井	291	15(3)	283	15(3)	286	15(3)	265	14(3)
43	富士見	247	13(3)	249	12(3)	234	11(3)	230	11(3)
44	武山	429	16(3)	407	15(3)	404	16(3)	390	16(3)
45	荻野	159	9(3)	155	9(3)	170	10(3)	174	10(3)
46	大楠	477	22(5)	494	23(5)	489	23(5)	458	22(5)
合計		17,118	758 (169)	16,766	756 (169)	16,259	753 (169)	15,805	749 (169)

※R4までは、1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で推計し、R5は4年生以下、R6は5年生以下、R7以降は全学年を35人学級として推計

※（ ）内は、特別支援学級の再掲

令和7年度		令和8年度		令和9年度		学校名	
児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数		
100	8(2)	97	8(2)	124	8(2)	1	追 浜
501	21(4)	487	20(4)	437	19(4)	2	夏 島
654	26(4)	603	25(4)	539	23(4)	3	浦 郷
247	14(3)	232	13(3)	222	12(3)	4	鷹 取
296	16(4)	277	16(4)	241	15(4)	5	船 越
122	9(3)	117	9(3)	112	9(3)	6	田 浦
119	8(2)	122	8(2)	111	8(2)	7	長 浦
62	9(3)	70	9(3)	62	9(3)	8	逸 見
89	9(3)	90	9(3)	79	9(3)	9	沢 山
203	10(2)	188	9(2)	168	8(2)	10	桜
89	8(2)	86	8(2)	75	8(2)	11	汐 入
353	15(3)	340	15(3)	342	15(3)	12	諏 訪
400	19(5)	361	18(5)	331	17(5)	13	田 戸
363	16(3)	353	16(3)	344	15(3)	14	山 崎
253	16(4)	236	15(4)	219	14(4)	15	豊 島
449	23(6)	433	22(6)	399	21(6)	16	鶴久保
684	27(5)	697	28(5)	653	27(5)	17	公 郷
481	23(6)	470	23(6)	453	22(6)	18	池 上
436	19(3)	433	18(3)	431	17(3)	19	城 北
373	17(5)	375	17(5)	358	17(5)	20	衣 笠
346	15(3)	358	15(3)	355	15(3)	21	大矢部
615	28(7)	582	27(7)	533	25(7)	22	森 崎
323	15(3)	304	15(3)	303	15(3)	23	大 津
508	24(6)	484	23(6)	461	22(6)	24	根 岸
55	7(1)	57	7(1)	64	7(1)	25	走 水
233	14(4)	242	15(4)	234	14(4)	26	馬 堀
226	13(3)	221	13(3)	204	12(3)	27	望 洋
361	17(5)	346	17(5)	332	17(5)	28	大塚台
394	17(3)	365	16(3)	342	15(3)	29	浦 賀
306	14(3)	301	14(3)	282	14(3)	30	小原台
263	15(3)	247	14(3)	223	13(3)	31	鴨 居
280	14(3)	275	14(3)	246	13(3)	32	高 坂
302	14(3)	269	13(3)	247	13(3)	33	岩 戸
634	30(8)	623	29(8)	609	28(8)	34	久里浜
544	21(4)	526	21(4)	494	20(4)	35	明 浜
482	21(5)	455	20(5)	409	19(5)	36	神 明
272	14(2)	256	13(2)	241	12(2)	37	粟 田
423	17(3)	404	16(3)	393	16(3)	38	野 比
316	16(4)	313	16(4)	322	16(4)	39	野比東
259	14(4)	276	15(4)	290	16(4)	40	北下浦
340	15(3)	344	15(3)	330	15(3)	41	津久井
261	14(3)	249	14(3)	245	14(3)	42	長 井
227	11(3)	225	11(3)	206	10(3)	43	富士見
371	16(3)	363	16(3)	353	16(3)	44	武 山
182	10(3)	180	10(3)	186	10(3)	45	荻 野
439	21(5)	423	20(5)	397	19(5)	46	大 楠
15,236	740 (169)	14,755	725 (169)	14,001	699 (169)	合 計	

【中学校】

学校名		令和3年度(実数)		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1	追 浜	492	16(3)	479	16(3)	514	17(3)	557	19(3)
2	鷹 取	178	8(2)	169	8(2)	166	8(2)	170	8(2)
3	田 浦	435	15(3)	410	14(3)	394	14(3)	353	13(3)
4	坂 本	328	13(4)	315	13(4)	306	13(4)	312	13(4)
5	不入斗	384	12(2)	358	12(2)	364	13(2)	393	14(2)
6	常 葉	426	15(3)	409	15(3)	394	15(3)	384	15(3)
7	公 郷	299	13(4)	306	13(4)	334	13(4)	329	13(4)
8	池 上	349	12(2)	339	12(2)	322	11(2)	312	11(2)
9	衣 笠	416	17(5)	417	17(5)	408	17(5)	371	17(5)
10	大矢部	444	15(3)	453	16(3)	470	17(3)	502	18(3)
11	大 津	730	24(4)	705	23(4)	707	23(4)	705	23(4)
12	馬 堀	235	10(2)	220	9(2)	225	9(2)	238	9(2)
13	浦 賀	674	22(4)	632	21(4)	597	20(4)	535	18(4)
14	鴨 居	415	16(4)	413	16(4)	379	15(4)	389	15(4)
15	岩 戸	148	7(2)	124	6(2)	138	7(2)	141	7(2)
16	久里浜	782	24(4)	771	25(4)	756	25(4)	701	23(4)
17	神 明	426	15(3)	432	16(3)	423	15(3)	418	15(3)
18	野 比	337	13(4)	330	13(4)	324	13(4)	324	13(4)
19	北下浦	196	8(2)	180	8(2)	172	8(2)	161	8(2)
20	長 沢	413	14(2)	395	14(2)	349	12(2)	361	12(2)
21	長 井	161	8(2)	151	8(2)	140	8(2)	136	8(2)
22	武 山	488	17(4)	465	16(4)	445	16(4)	408	16(4)
23	大 楠	251	11(4)	241	11(4)	255	12(4)	255	12(4)
合 計		9,007	325 (72)	8,714	322 (72)	8,582	321 (72)	8,455	320 (72)

※学級数は40人学級で推計

※（ ）内は、特別支援学級の再掲

令和7年度		令和8年度		令和9年度		学校名	
生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
578	19(3)	594	19(3)	598	19(3)	1	追 浜
179	8(2)	173	8(2)	161	8(2)	2	鷹 取
345	13(3)	293	11(3)	282	11(3)	3	田 浦
305	13(4)	287	13(4)	290	13(4)	4	坂 本
378	13(2)	374	12(2)	344	11(2)	5	不入斗
356	14(3)	361	14(3)	364	14(3)	6	常 葉
333	13(4)	312	13(4)	339	14(4)	7	公 郷
298	11(2)	279	11(2)	253	10(2)	8	池 上
350	16(5)	326	15(5)	312	14(5)	9	衣 笠
524	18(3)	516	18(3)	511	18(3)	10	大矢部
700	23(4)	662	22(4)	654	22(4)	11	大 津
251	10(2)	236	9(2)	223	9(2)	12	馬 堀
494	17(4)	457	16(4)	438	16(4)	13	浦 賀
358	14(4)	337	14(4)	305	13(4)	14	鴨 居
148	8(2)	152	8(2)	159	8(2)	15	岩 戸
654	22(4)	623	21(4)	679	23(4)	16	久里浜
443	15(3)	436	15(3)	449	15(3)	17	神 明
301	13(4)	285	13(4)	260	12(4)	18	野 比
174	8(2)	169	8(2)	168	8(2)	19	北下浦
362	12(2)	366	13(2)	351	13(2)	20	長 沢
126	7(2)	134	7(2)	122	6(2)	21	長 井
385	16(4)	366	15(4)	355	14(4)	22	武 山
284	13(4)	277	13(4)	256	12(4)	23	大 楠
8,326	316 (72)	8,015	308 (72)	7,873	303 (72)	合 計	

あなたが好き 私が好き 横須賀が好き  
と誇れる人づくり

**横須賀市教育環境整備計画**

令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

策定年月 令和4年（2022年）3月

策 定 横須賀市教育委員会

（担当 教育委員会事務局教育総務部教育政策課）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL : 046-822-9751 FAX : 046-822-6849

E-mail : sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp